

双葉町 住民意向調査 報告書

令和6年3月

復興庁
福島県
双葉町

双葉町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果（主要項目）	5
2-1 回答者の属性・状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問6（1））	7
2-1-2 世帯人数（問5（1）・問5（2））	7
2-1-3 現在の居住自治体（問4）	8
2-1-4 震災発生当時の住居形態（問3）	8
2-1-5 現在の住居形態（問7）	9
2-1-6 震災発生当時の双葉町内での事業（問16-1）	9
2-1-7 営んでいた事業の業種（問16-2）	10
2-2 調査結果	11
2-2-1 双葉町への帰還意向（問10）	11
2-2-2 双葉町への帰還時期（問11-1）	13
2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問11-2）	13
2-2-4 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問12-1）	14
2-2-5 双葉町へ帰還したい方が帰還した場合に希望する住居形態 （問12-2）	15
2-2-6 双葉町に戻らないと決めている理由（問15-1）	16
III 調査結果（全項目）	17
3-1 回答者の属性	19
3-1-1 年齢	19
3-2 東日本大震災発生時の状況	20
3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区	20

3-2-2	震災発生当時の住まいの区域	20
3-2-3	震災発生当時の住居形態	21
3-3	現在の状況	22
3-3-1	現在の居住自治体	22
3-3-2	震災発生当時の世帯構成・人数	23
3-3-3	現在の世帯構成・人数	24
3-3-4	現在の職業（就業形態）	25
3-3-5	現在の業種	26
3-3-6	現在の住居形態	27
3-3-7	双葉町からの情報の入手経路	27
3-3-8	特に知りたい、関心のある情報	28
3-4	将来の意向	29
3-4-1	双葉町への帰還意向	29
3-4-2	双葉町への帰還時期	32
3-4-3	双葉町へ帰還する場合の家族	33
3-4-4	双葉町へ帰還する場合の世帯構成・人数	34
3-4-5	双葉町への帰還を判断するために必要なこと	35
3-4-6	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態	37
3-4-7	JR双葉駅東エリアの賑わいを再興するために必要な機能	38
3-4-8	JR双葉駅西エリア・東エリアに必要な生活関連サービス	39
3-4-9	双葉町との「つながり」を保ちたいか	40
3-4-10	双葉町に帰りたい頻度	41
3-4-11	双葉町に帰りたくなる取り組み・行事・イベント	42
3-4-12	双葉町に戻らないと決めている理由	43
3-4-13	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	44
3-5	双葉町内での事業の実施	45
3-5-1	震災発生当時の双葉町内での事業	45
3-5-2	営んでいた事業の業種	45
3-5-3	事業再開や新事業へのチャレンジの意向	46
3-5-4	双葉町内での事業再開の希望時期	46
3-5-5	今後の新事業へのチャレンジの意向	46
3-5-6	事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所	47
3-5-7	事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援	47
3-6	双葉町内での就業意向	48
3-6-1	双葉町内での就業意向	48
3-6-2	就業を希望する業種	48

3-6-3	就業を希望する雇用形態	49
3-6-4	就業に必要な支援・施策	49
3-7	不動産の取り扱い	50
3-7-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向	50
3-7-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向	50
3-7-3	双葉町内に所有する農地の利用意向	51
3-8	復興公営住宅	52
3-8-1	福島県営の復興公営住宅への入居意向	52
3-8-2	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期	52
3-8-3	福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村	53
3-9	双葉町産業交流センター	54
3-9-1	双葉町産業交流センターの利用経験	54
3-9-2	双葉町産業交流センターへ訪問したくなる取組	54
3-10	意見・要望	55
3-10-1	双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望	55
3-10-2	避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること	58
IV	参考資料	61
4-1	使用調査票	63

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた双葉町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	双葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,244世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和5年10月30日（月）～令和5年11月19日（日）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、双葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,244世帯（有効回収率38.3%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和5年度について述べている。
（令和4年度の結果は、参考値として掲載）

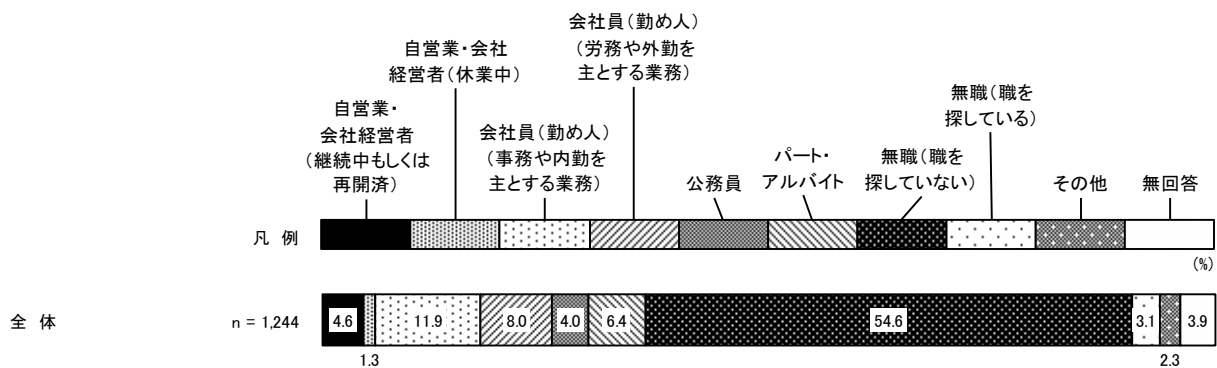
II 調查結果（主要項目）

2-1 回答者の属性・状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問6（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」（54.6%）以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が11.9%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が8.0%となっている。

<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>

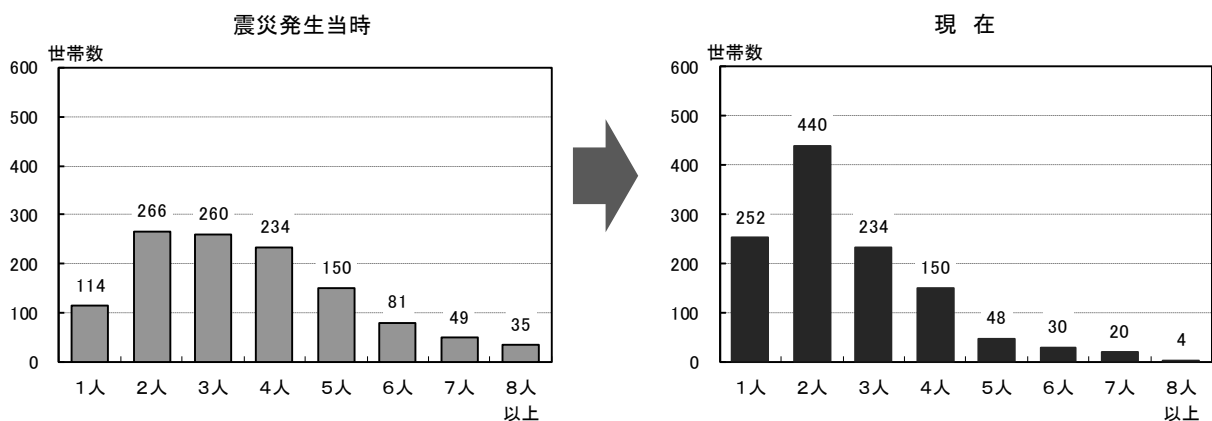


2-1-2 世帯人数（問5（1）・問5（2））

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が266世帯と最も多く、次いで「3人」が260世帯、「4人」が234世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が440世帯と最も多く、次いで「1人」が252世帯、「3人」が234世帯となっている。

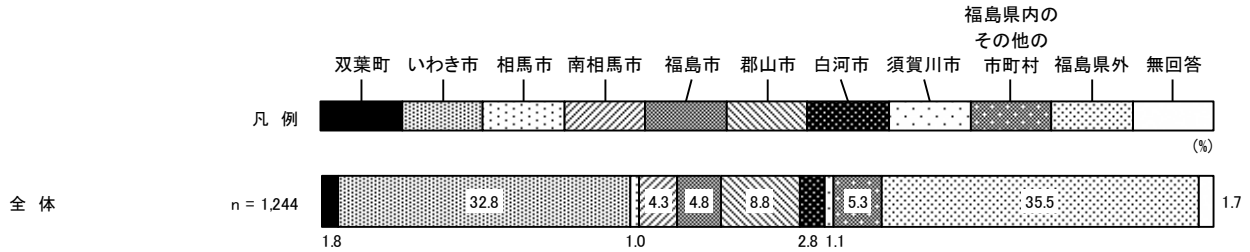
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 現在の居住自治体（問4）

現在の居住自治体については、「福島県外」が35.5%と最も高く、次いで「いわき市」が32.8%、「郡山市」が8.8%となっている。

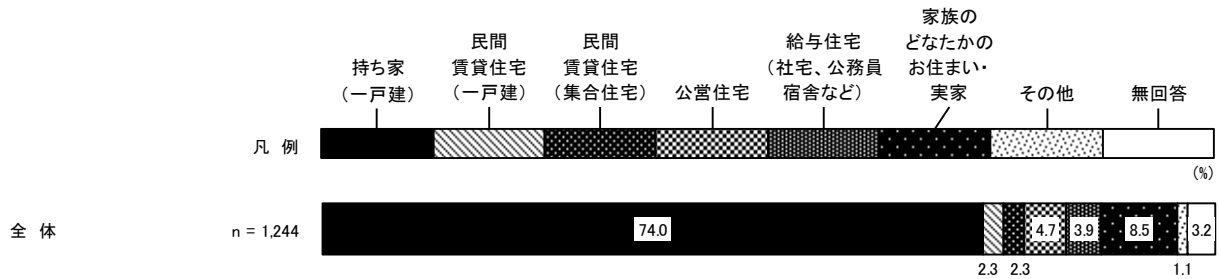
<図表2-1-3 現在の居住自治体>



2-1-4 震災発生当時の住居形態（問3）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が74.0%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が8.5%、「公営住宅」が4.7%となっている。

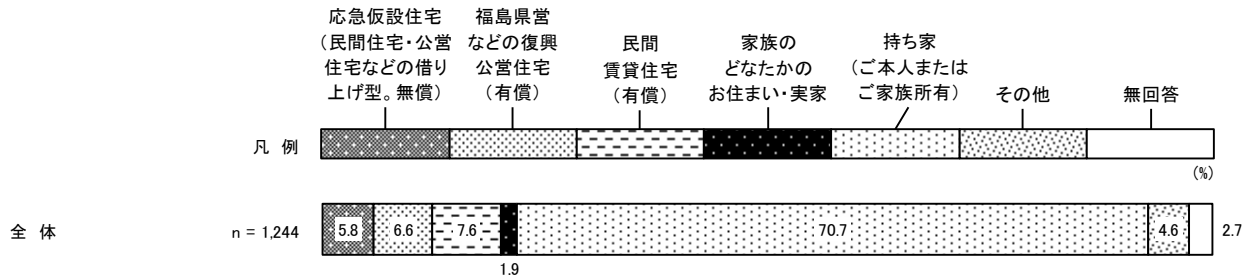
<図表2-1-4 震災発生当時の住居形態>



2-1-5 現在の住居形態（問7）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が70.7%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（有償）」が7.6%、「福島県営などの復興公営住宅（有償）」が6.6%となっている。

＜図表2-1-5 現在の住居形態＞



2-1-6 震災発生当時の双葉町内での事業（問16-1）

震災発生当時の双葉町内での事業については、「営んでいた」が25.4%、「営んでいない」が65.6%となっている。

＜図表2-1-6 震災発生当時の双葉町内での事業＞

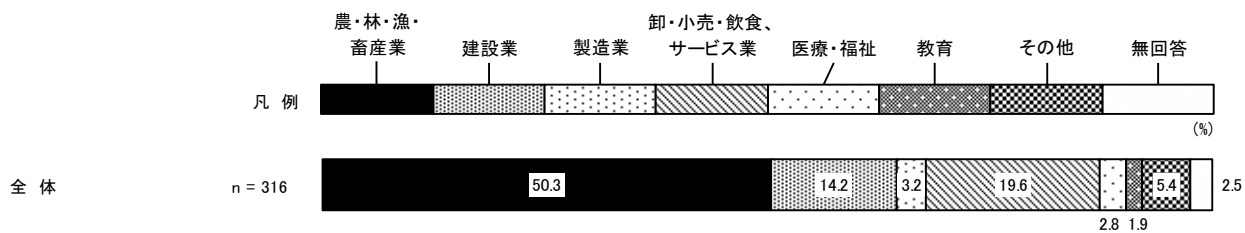


II 調査結果(主要項目)

2-1-7 営んでいた事業の業種(問16-2)

営んでいた事業の業種については、「農・林・漁・畜産業」が50.3%と最も高く、次いで「卸・小売・飲食、サービス業」が19.6%、「建設業」が14.2%となっている。

<図表2-1-7 営んでいた事業の業種>



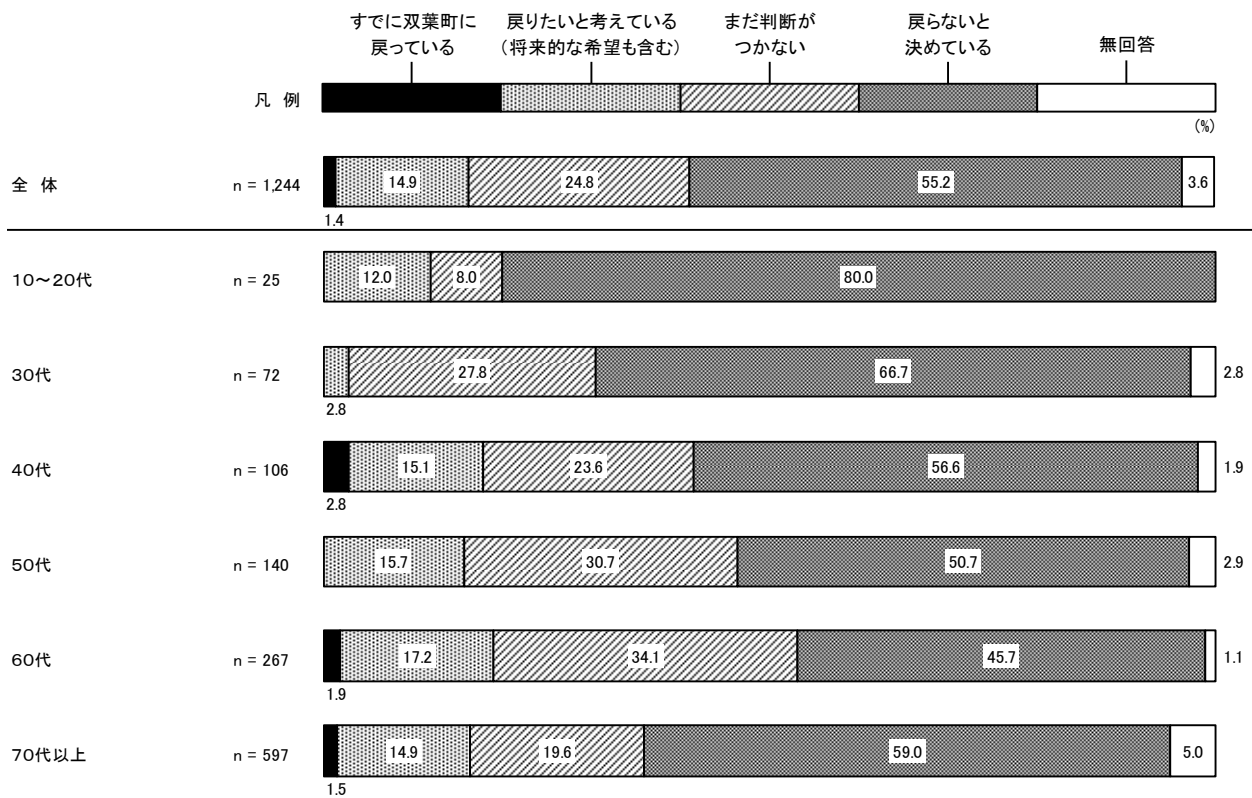
2-2 調査結果

2-2-1 双葉町への帰還意向（問10）

双葉町への帰還意向については、「すでに双葉町に戻っている」（1.4%）、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」（14.9%）をあわせると、双葉町へ帰還意向のある人は16.3%となっている。

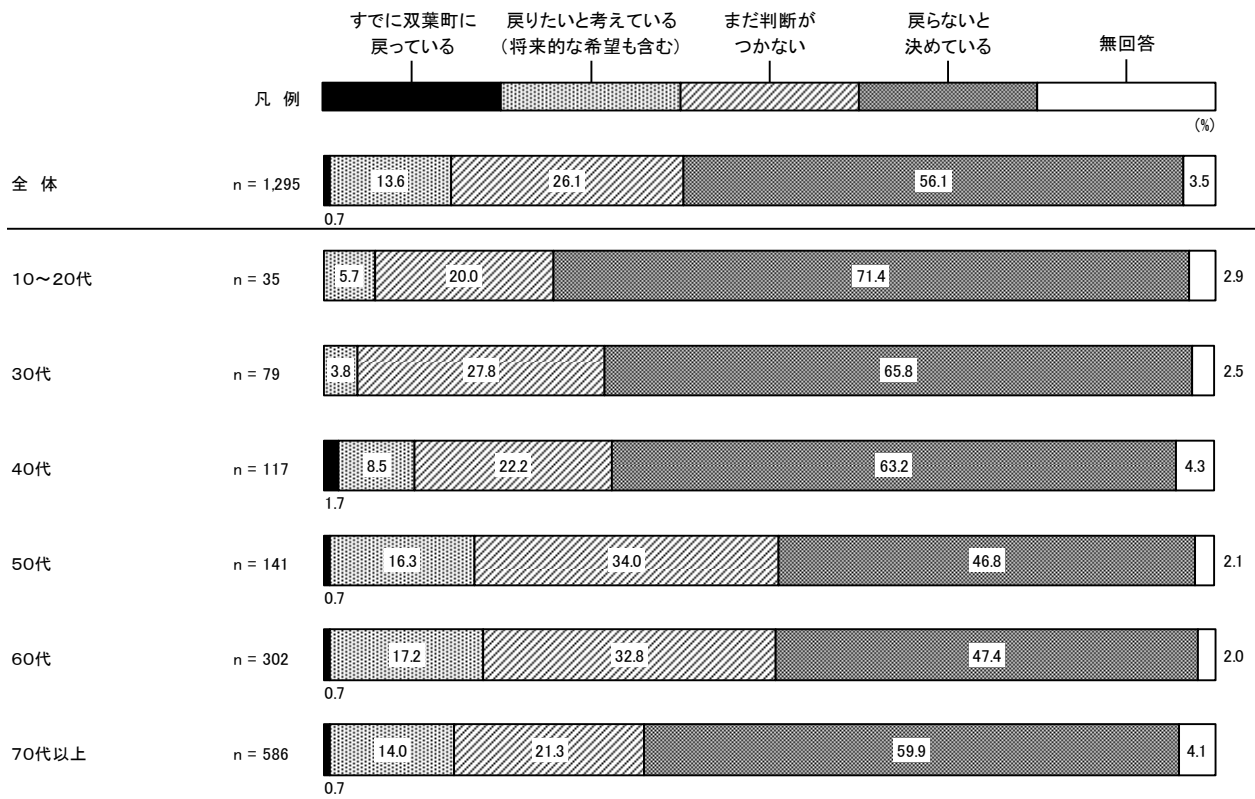
回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は60代で17.2%と最も高くなっている。

＜図表2-2-1-1 双葉町への帰還意向：令和5年度（年齢別）＞



II 調査結果（主要項目）

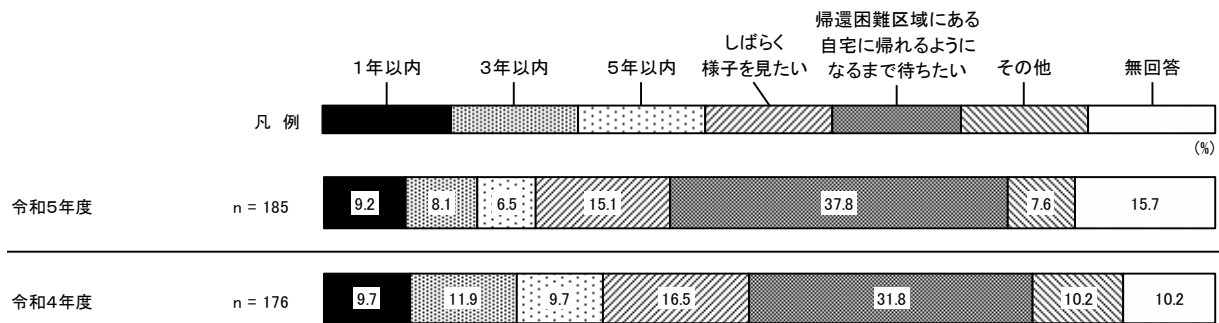
<図表2-2-1-2 双葉町への帰還意向：令和4年度（年齢別）>



2-2-2 双葉町への帰還時期（問11-1）

双葉町への帰還時期については、「帰還困難区域にある自宅に帰れるようになるまで待ちたい」が37.8%と最も高く、次いで「しばらく様子を見たい」が15.1%、「1年以内」が9.2%となっている。

<図表2-2-2 双葉町への帰還時期>

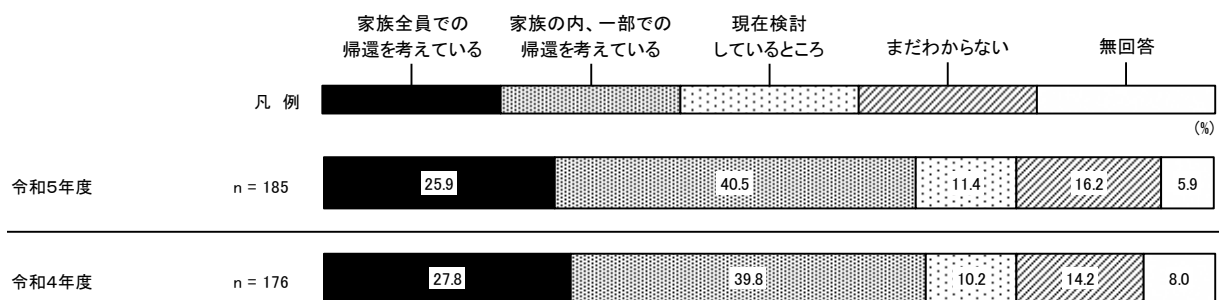


※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問11-2）

双葉町へ帰還する場合の家族については、「家族の内、一部での帰還を考えている」が40.5%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が25.9%、「まだわからない」が16.2%となっている。

<図表2-2-3 双葉町へ帰還する場合の家族>



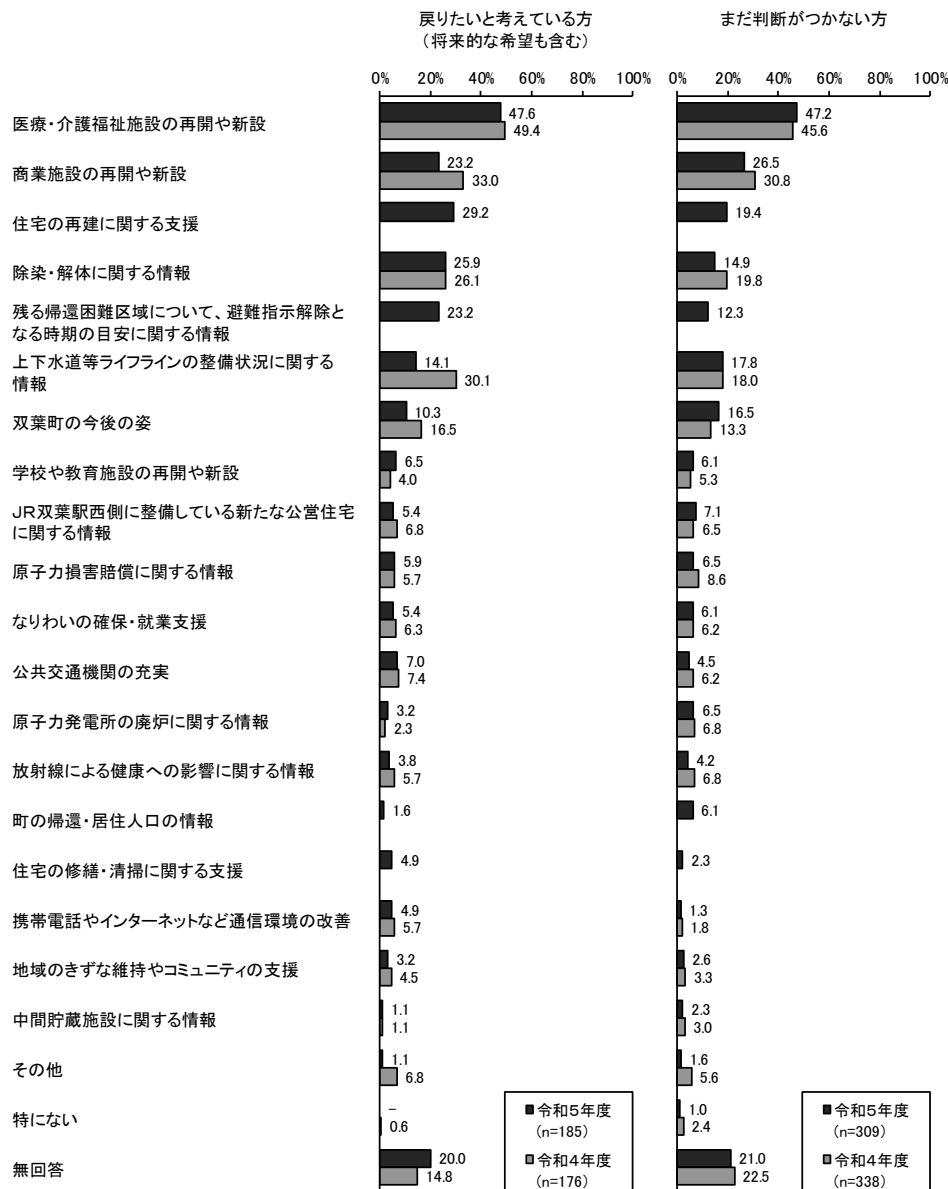
※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-4 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問12-1）

双葉町への帰還を判断するために必要なことについて、戻りたいと考えている方では、「医療・介護福祉施設の再開や新設」が47.6%と最も高く、次いで「住宅の再建に関する支援」が29.2%、「除染・解体に関する情報」が25.9%となっている。

まだ判断がつかない方では、「医療・介護福祉施設の再開や新設」が47.2%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が26.5%、「住宅の再建に関する支援」が19.4%となっている。

＜図表2-2-4 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（帰還意向別）＞



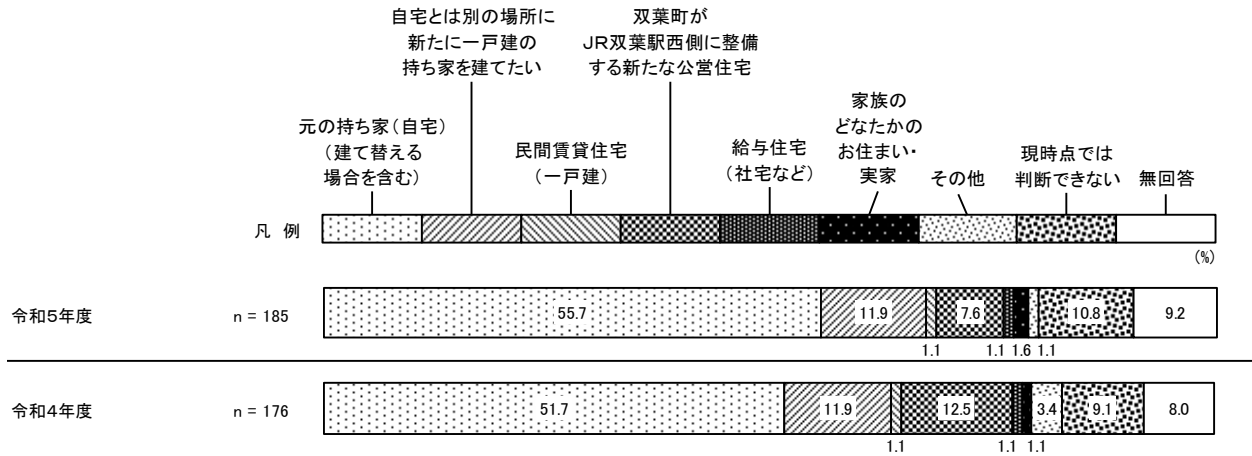
※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※優先順位1番目から3番目を積算して算出

※令和5年度からの新規回答項目については、令和5年度結果のみ掲載

2-2-5 双葉町へ帰還したい方が帰還した場合に希望する住居形態（問12-2）

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、戻りたいと考えている方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が55.7%と最も高く、次いで「自宅とは別の場所に新たに戸建の持ち家を建てたい」が11.9%、「現時点では判断できない」が10.8%となっている。

<図表2-2-5 双葉町へ帰還したい方が帰還した場合に希望する住居形態>

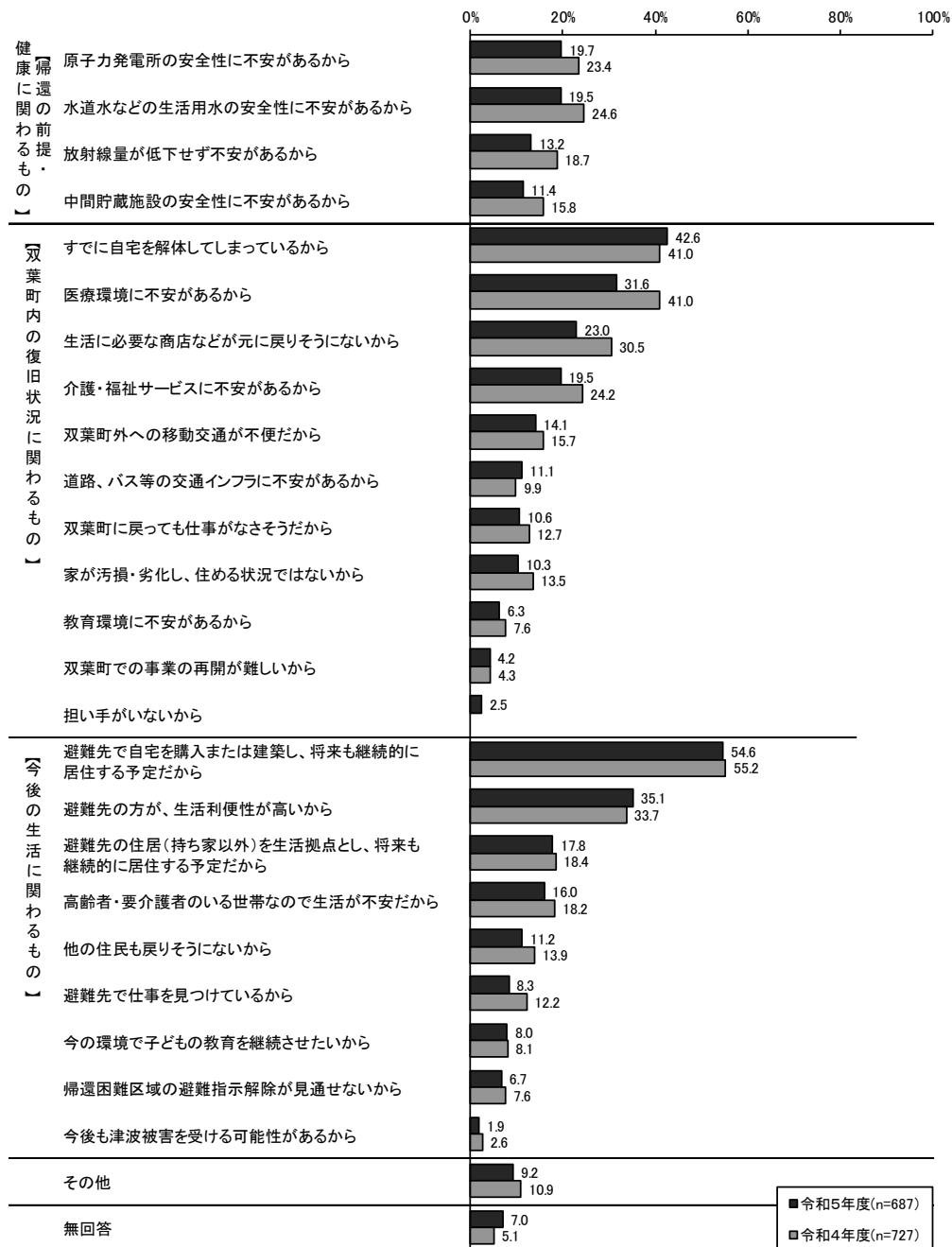


※問10で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-6 双葉町に戻らないと決めている理由（問15-1）

双葉町に戻らないと決めている理由については、「避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから」が54.6%と最も高く、次いで「すでに自宅を解体してしまっているから」が42.6%、「避難先の方が生活利便性が高いから」が35.1%となっている。

＜図表2-2-6 双葉町に戻らないと決めている理由＞



※問10で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可
 ※令和5年度からの新規回答項目については、令和5年度結果のみ掲載

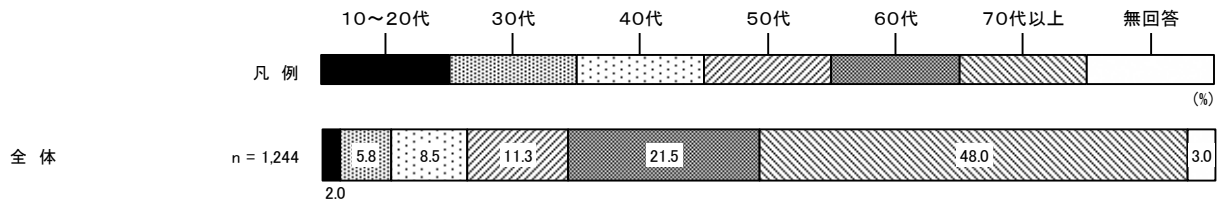
III 調査結果（全項目）

3-1 回答者の属性

3-1-1 年齢

問1 現在のあなたの年齢を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-1 年齢>

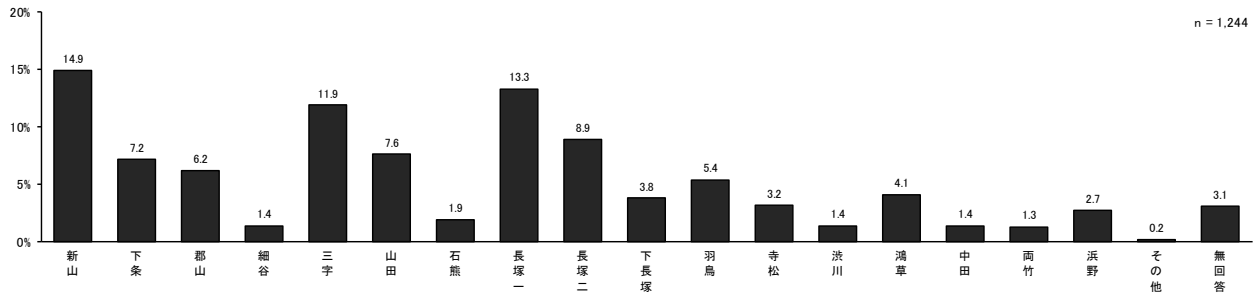


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問2-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。（〇は1つ）

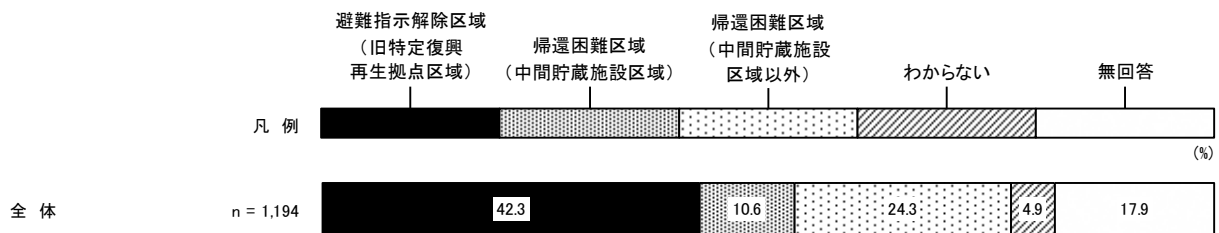
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の住まいの区域

問2-1で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。
 問2-2 震災発生当時のお住まいが、現在、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。（〇は1つ）

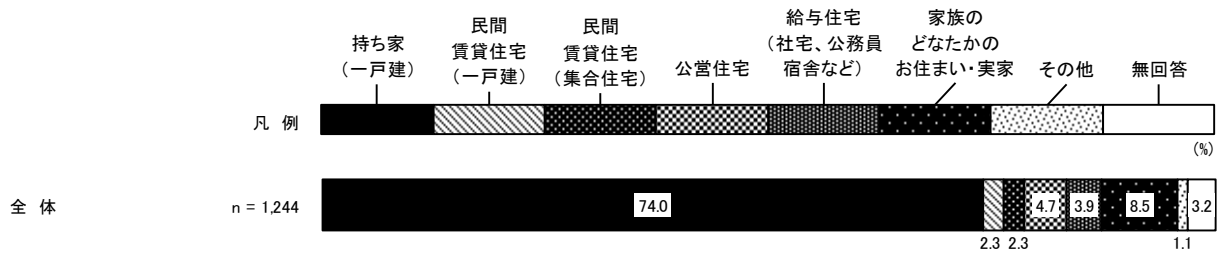
<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの区域>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問3 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

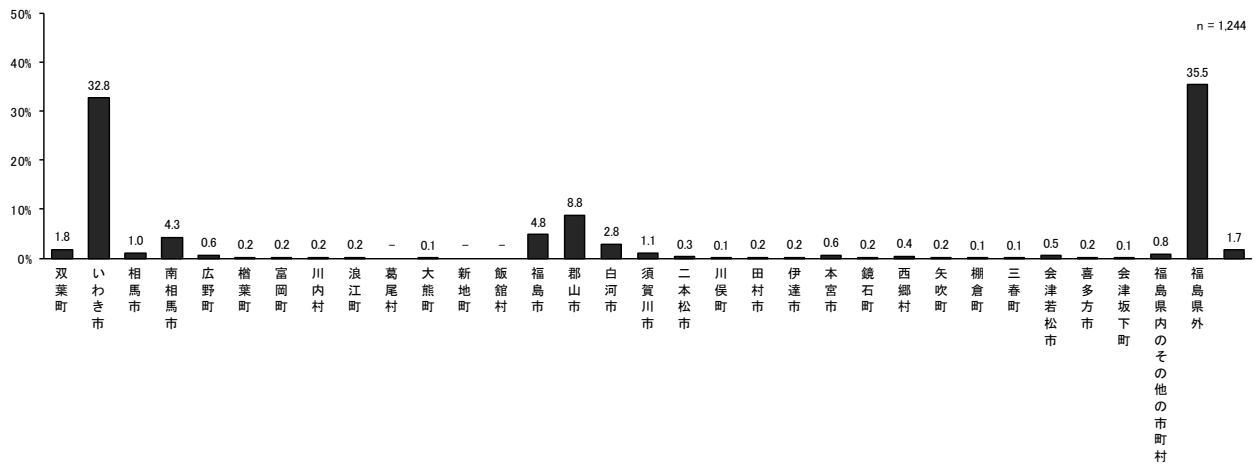
持ち家（集合住宅）	0.3%
親戚・知人宅	0.4%
その他	0.4%

3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住自治体

問4 あなたが現在お住いの自治体を教えてください。（〇は1つ）

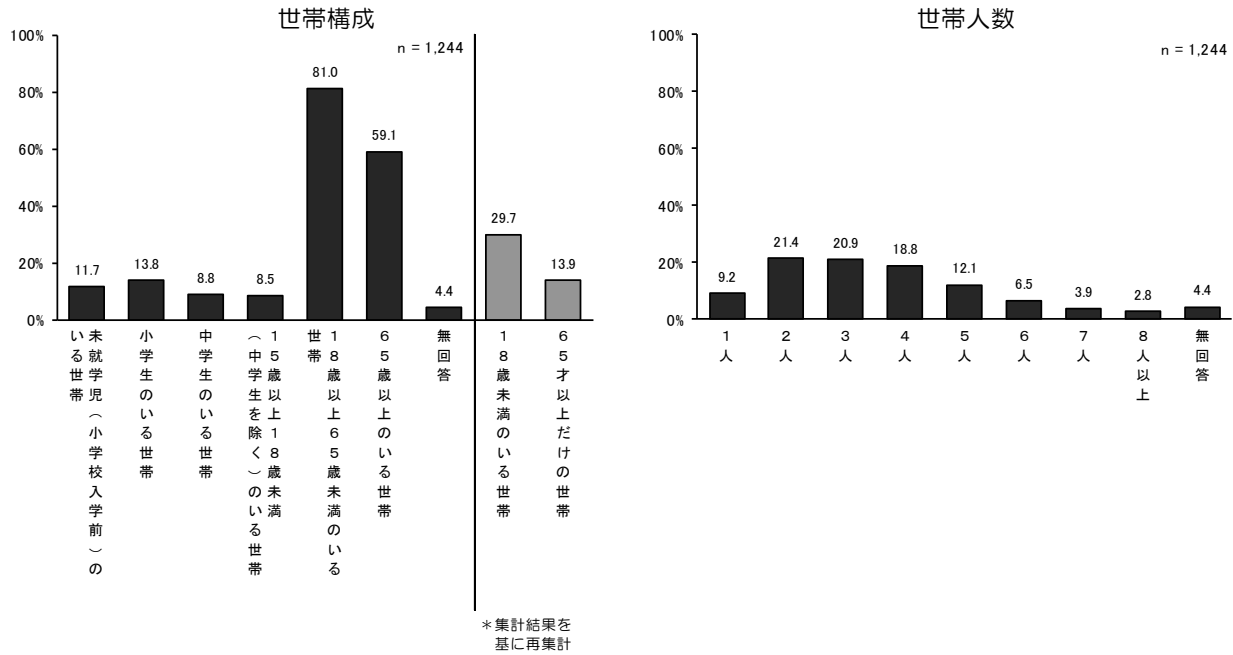
<図表3-3-1 現在の居住自治体>



3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

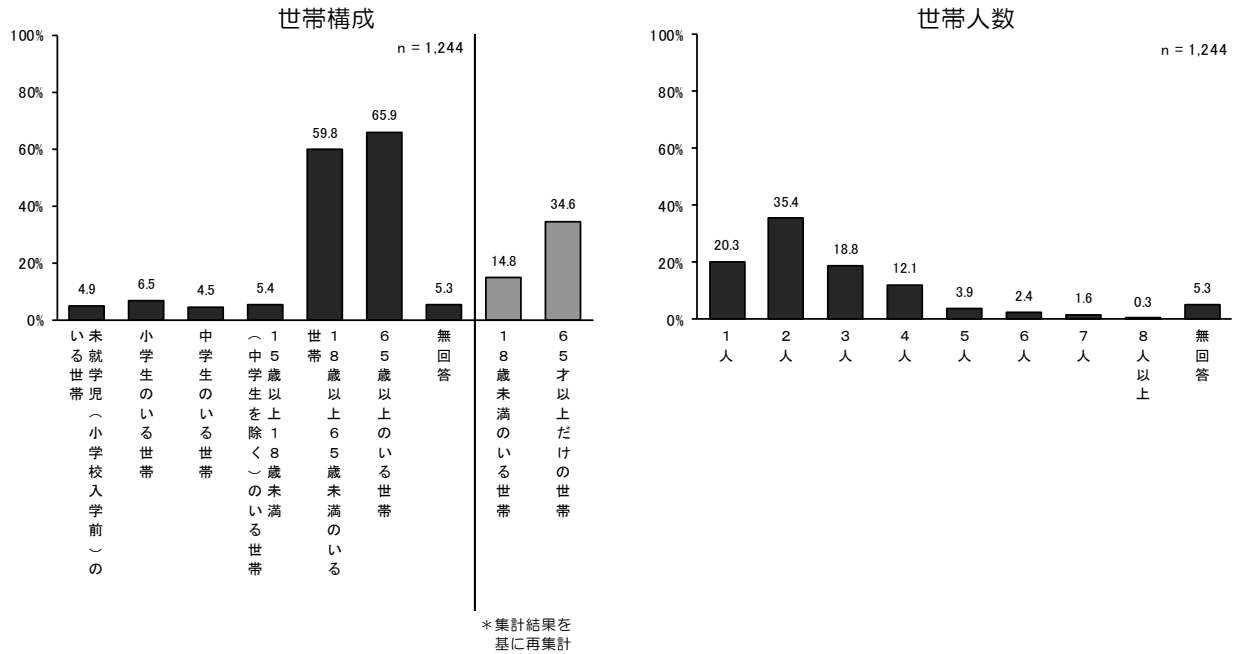
<図表3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の世帯構成・人数

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

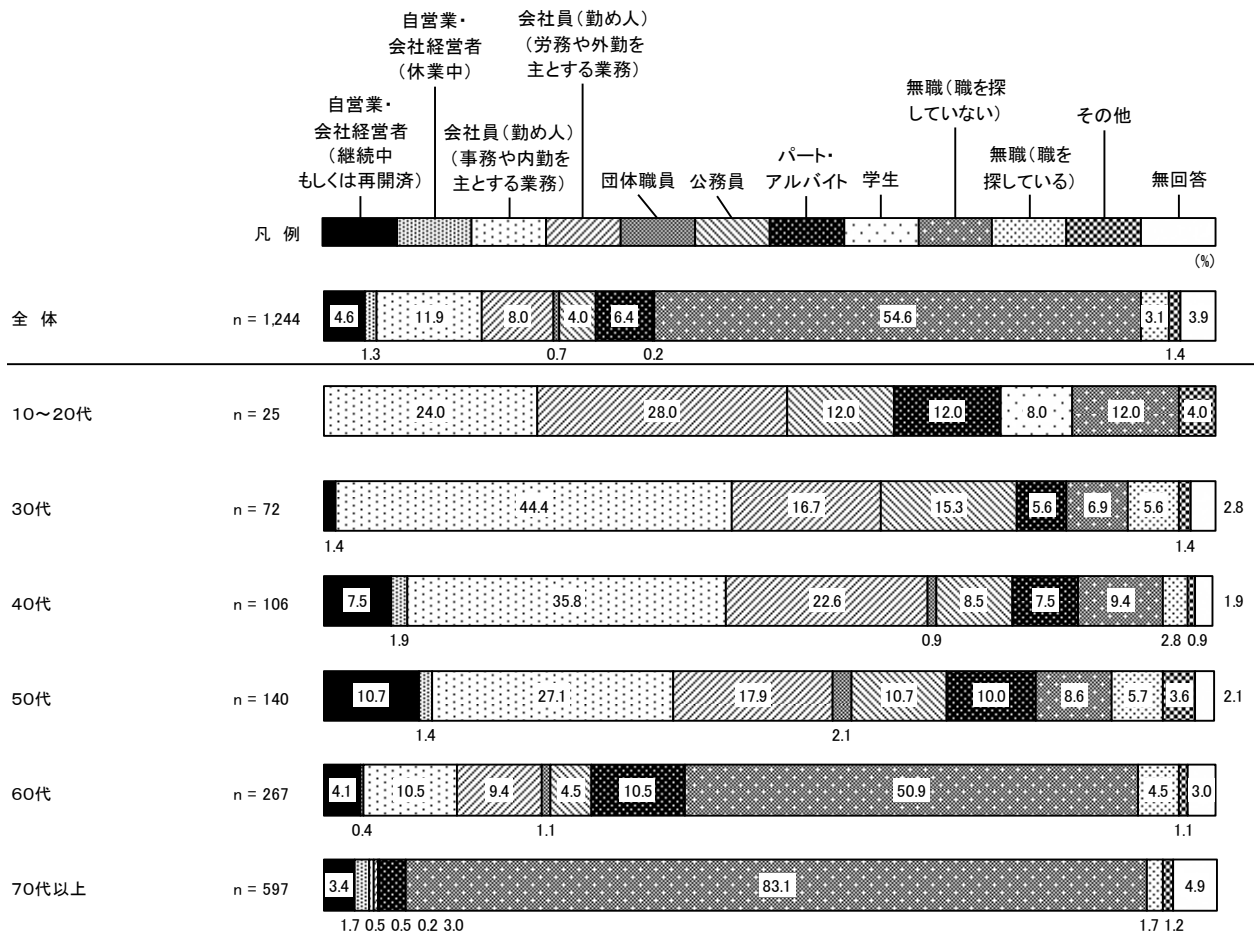
<図表3-3-3 現在の世帯構成・人数>



3-3-4 現在の職業（就業形態）

問6 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (1) 職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-3-4 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-3-5 現在の業種

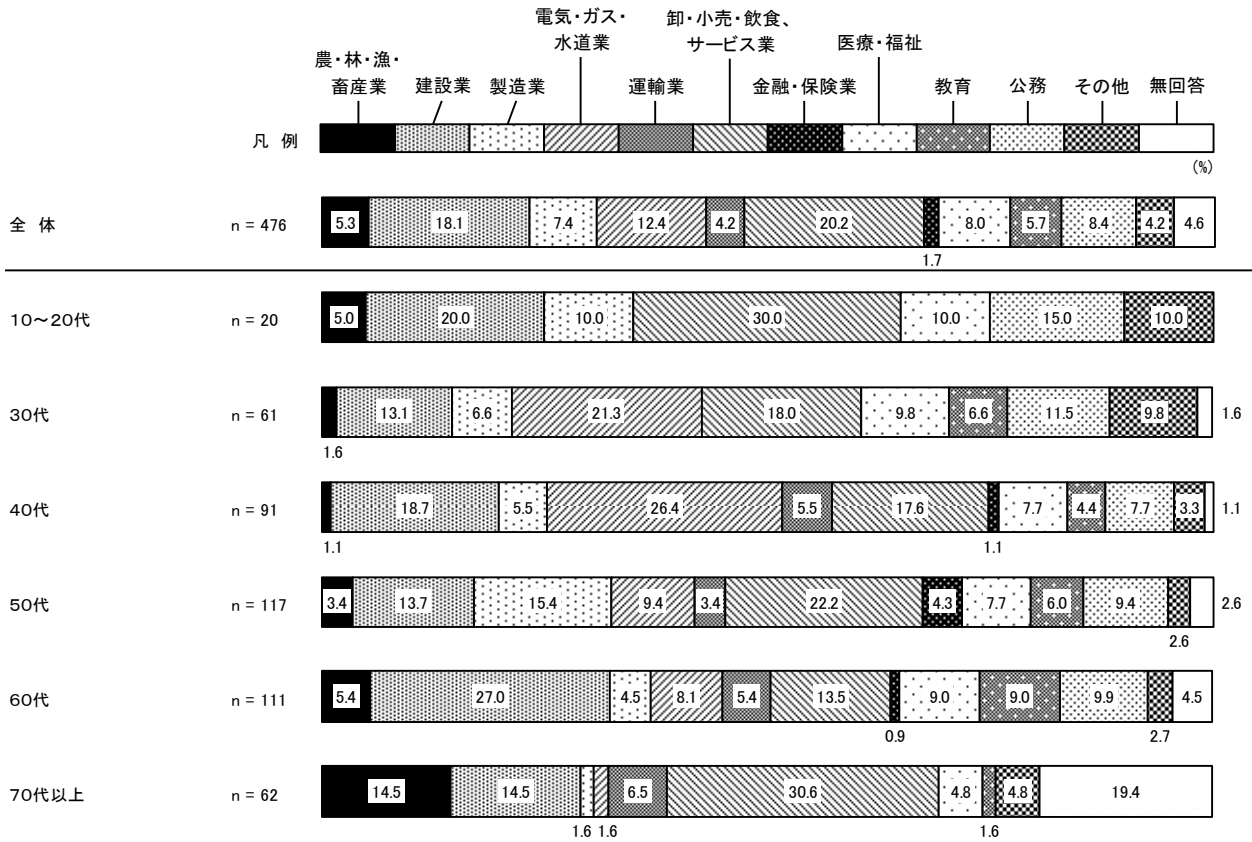
【仕事に就いている方（*問6（1）で1～7、11のいずれかに回答した方）にうかがいます。】

問6 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(2) 業種（○は1つ）

*問6（1）：1. 自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済） 2. 自営業・会社経営者（休業中）
 3. 会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務） 4. 会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）
 5. 団体職員 6. 公務員
 7. パート・アルバイト 11. その他

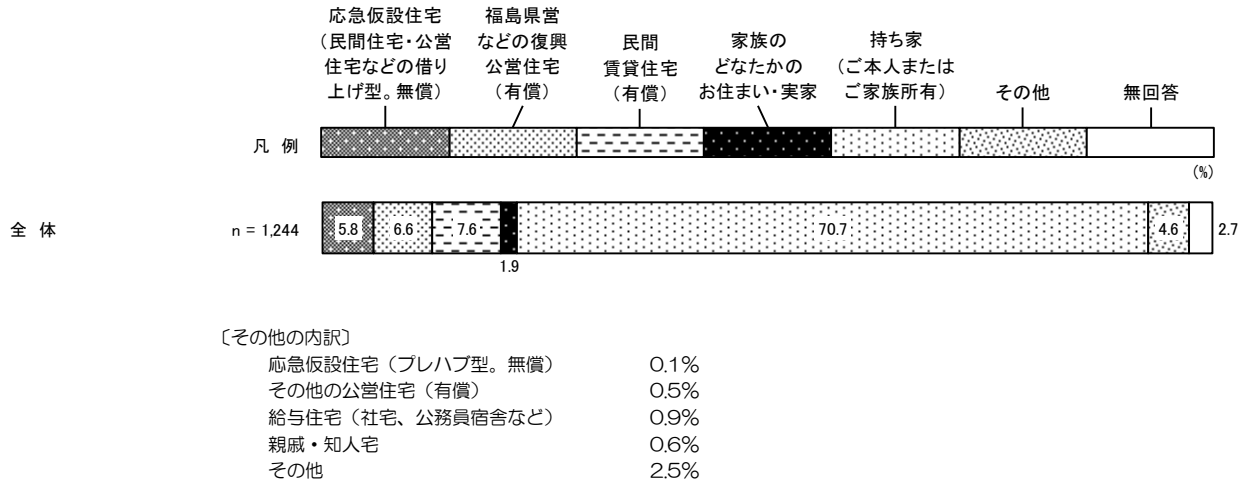
<図表3-3-5 現在の業種（年齢別）>



3-3-6 現在の住居形態

問7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。（〇は1つ）

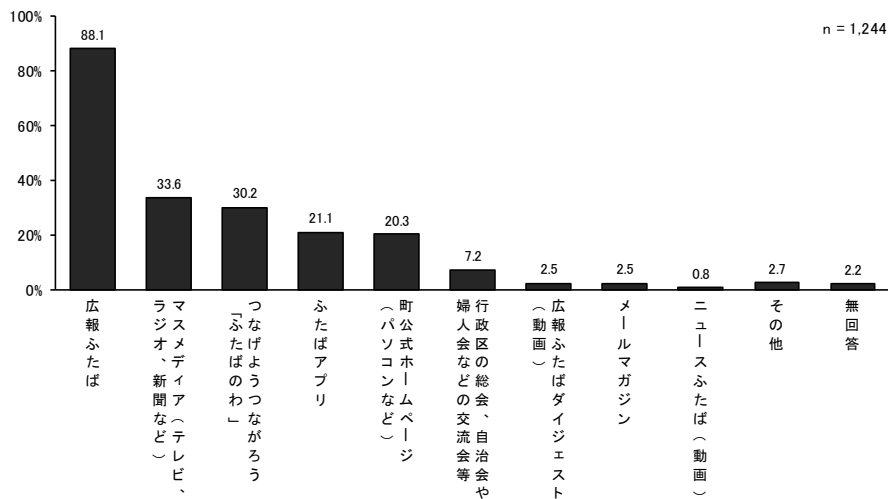
<図表3-3-6 現在の住居形態>



3-3-7 双葉町からの情報の入手経路

問8 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。（〇は3つまで）

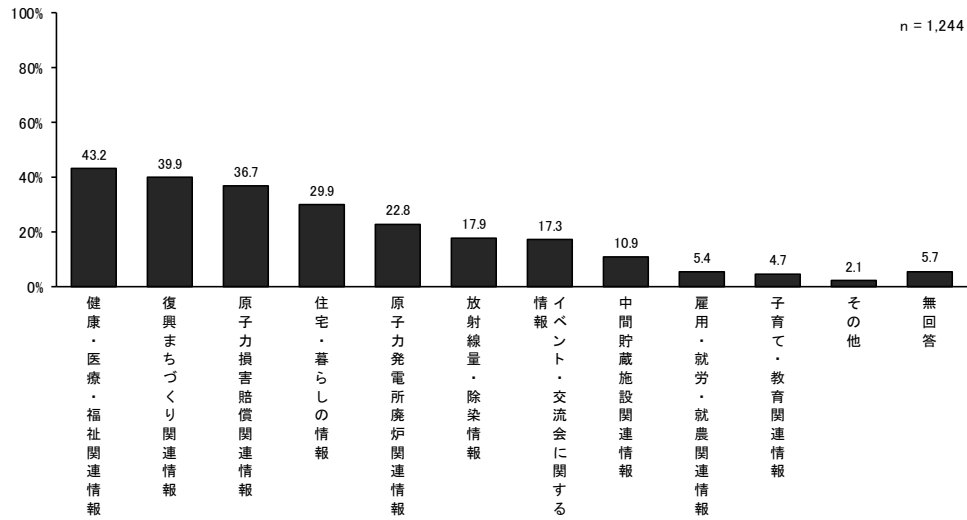
<図表3-3-7 双葉町からの情報の入手経路>



3-3-8 特に知りたい、関心のある情報

問9 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。（〇は3つまで）

<図表3-3-8 特に知りたい、関心のある情報>

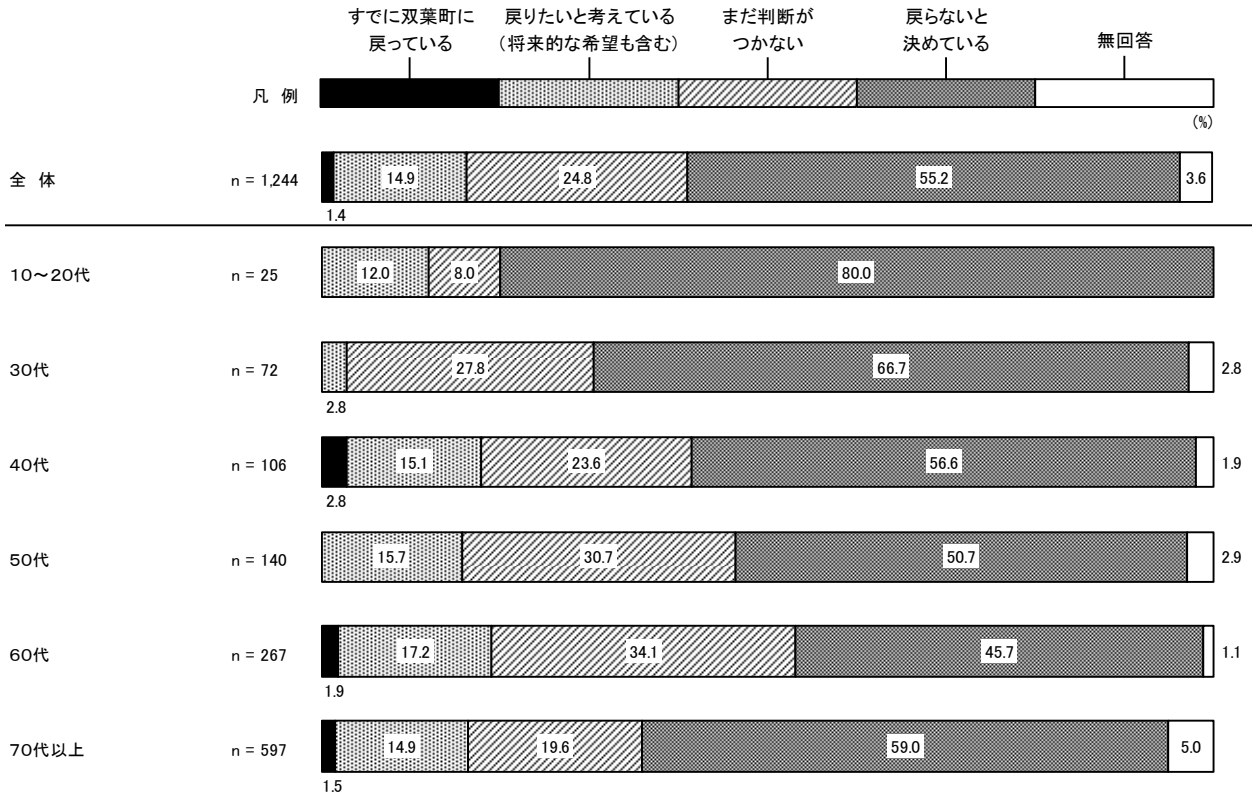


3-4 将来の意向

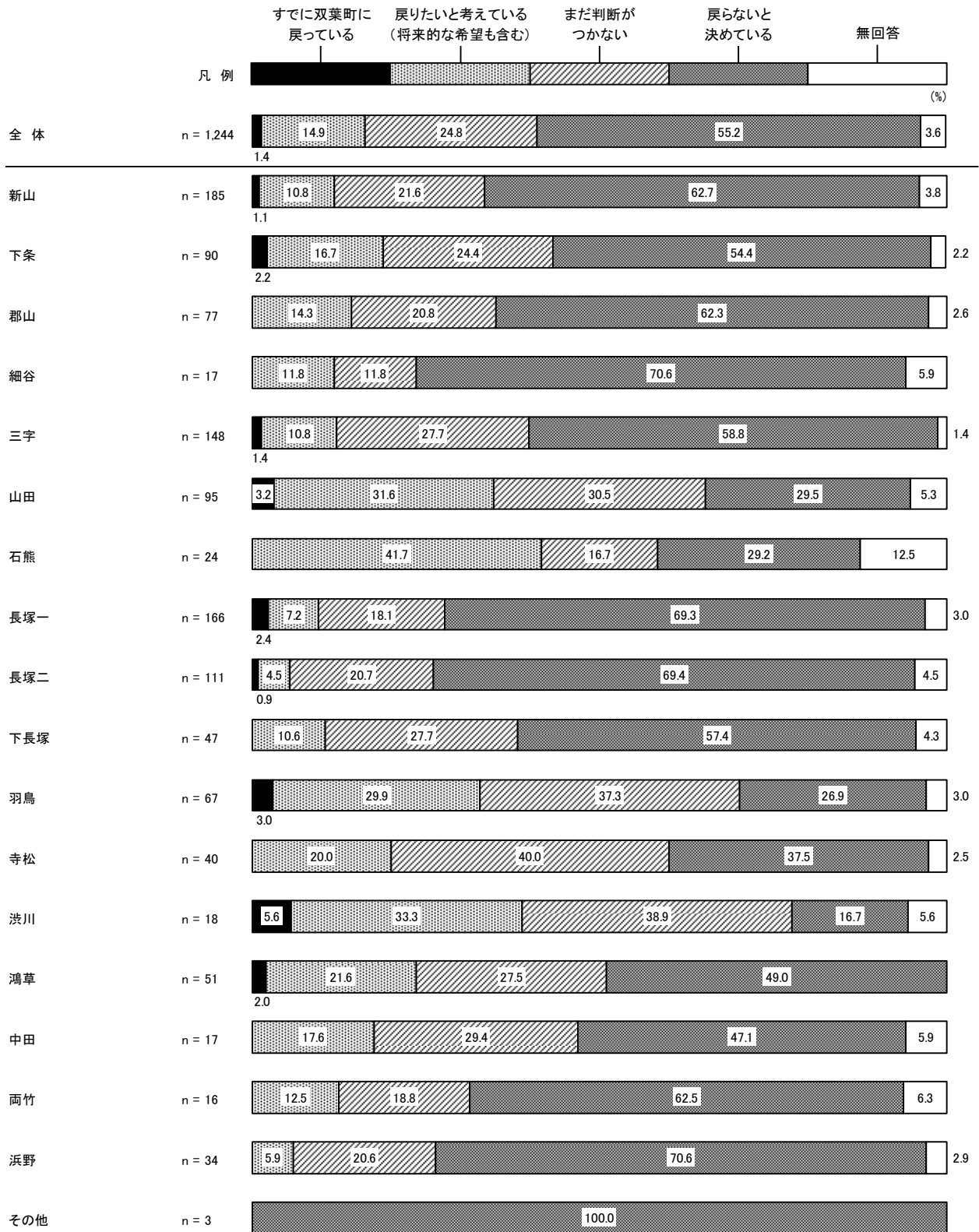
3-4-1 双葉町への帰還意向

問10 今後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

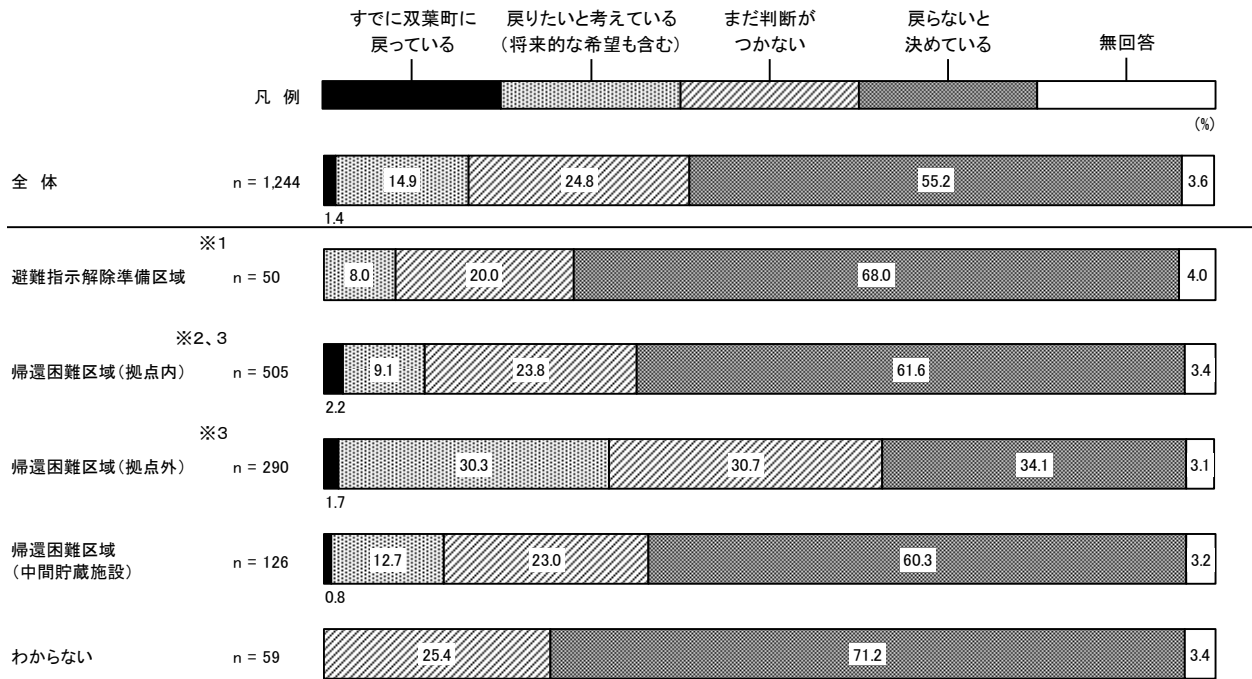
<図表3-4-1-1 双葉町への帰還意向（年齢別）>



<図表3-4-1-2 双葉町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-4-1-3 双葉町への帰還意向（避難指示区域別）>

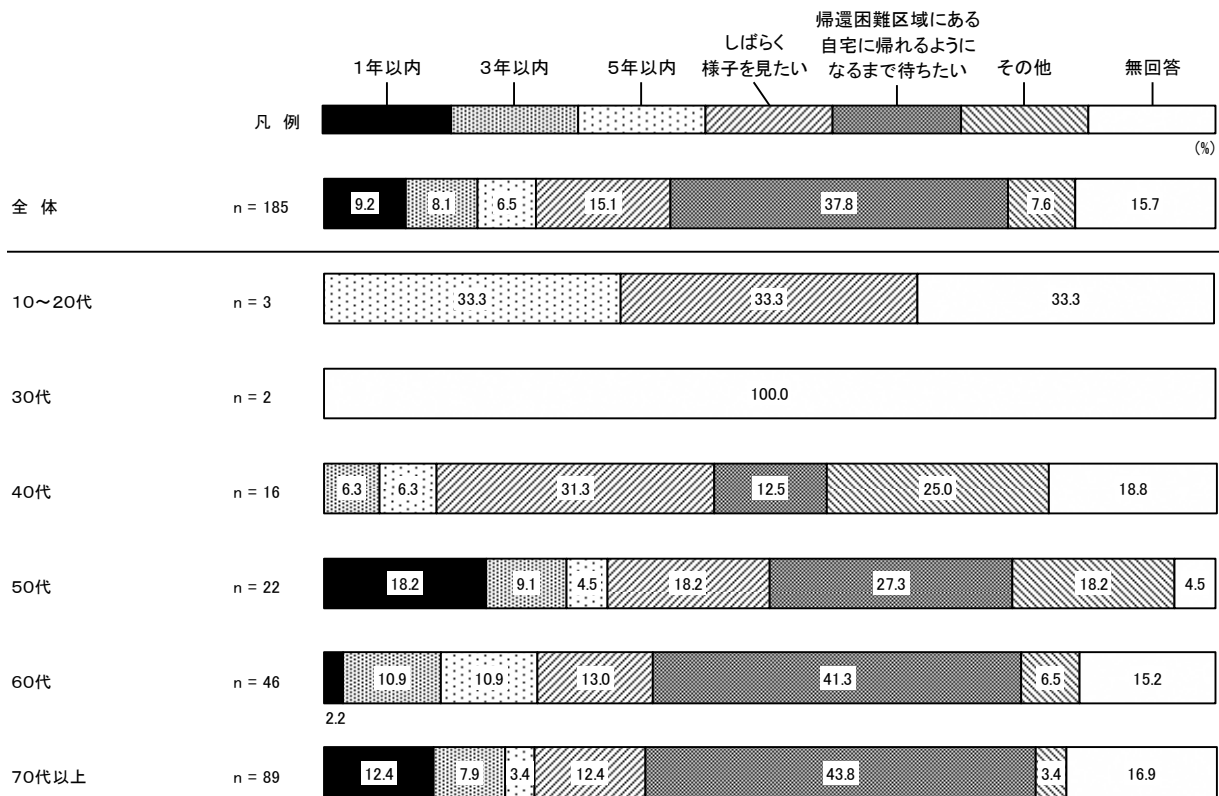


- ※1 令和2年3月4日に避難指示解除済み
- ※2 令和4年8月30日に避難指示解除済み
- ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと

3-4-2 双葉町への帰還時期

【問10で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかがいます。
 問11-1 今後、何年以内に戻りたいと考えていますか。（〇は1つ）

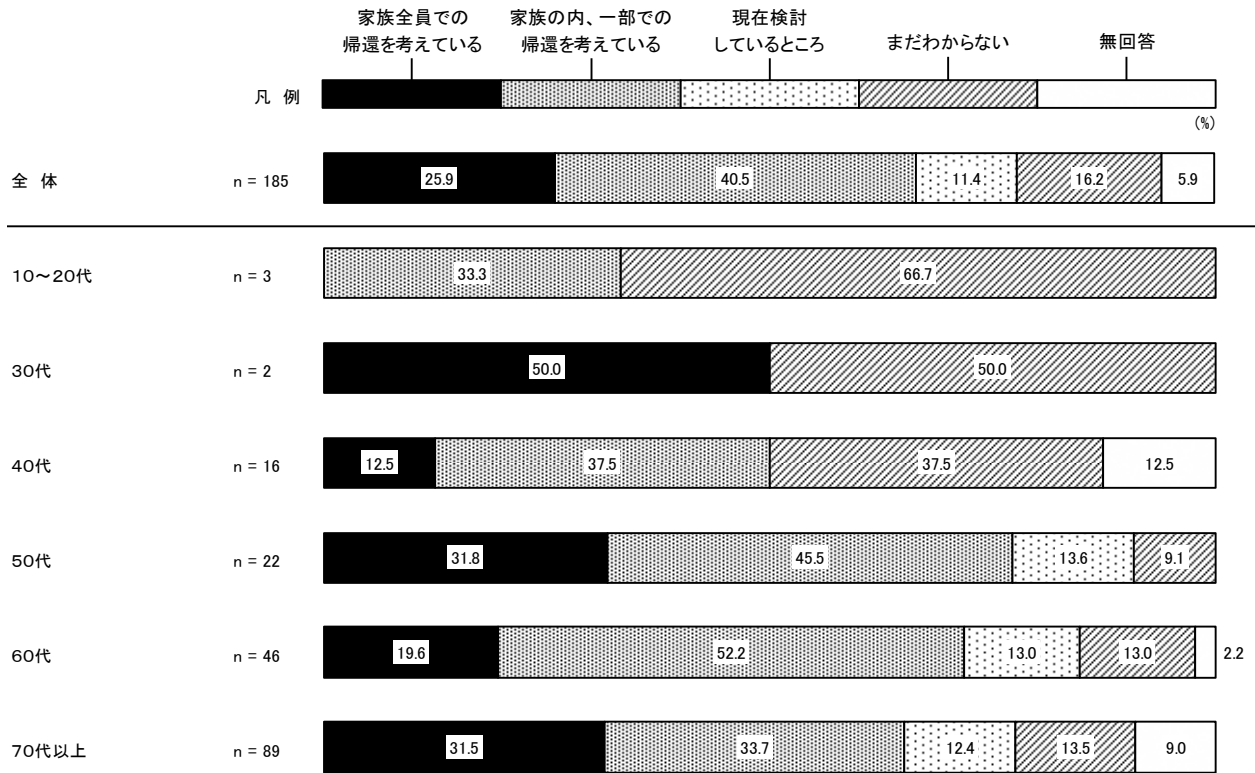
<図表3-4-2 双葉町への帰還時期（年齢別）>



3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族

【問10で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかがいます。
問11-2 戻るときに家族の全員なのか、又は一部なのかについて教えてください。（○は1つ）

<図表3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族（年齢別）>

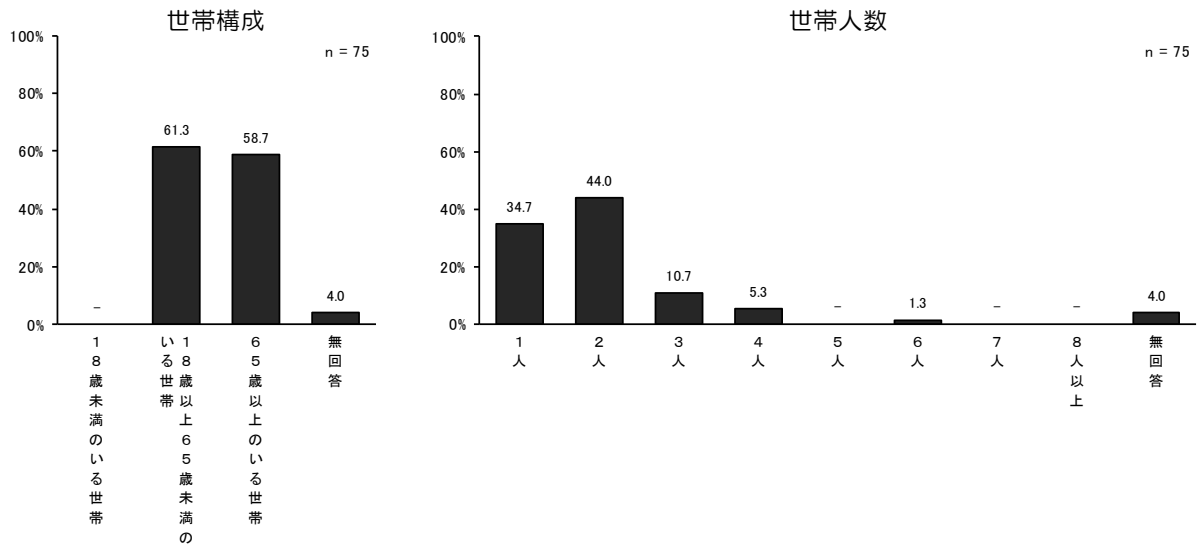


3-4-4 双葉町へ帰還する場合の世帯構成・人数

【問1 1-2で「2. 家族の内、一部での帰還を考えている」と回答した方にかがいます。】

問1 1-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表3-4-4 双葉町へ帰還する場合の世帯構成・人数>

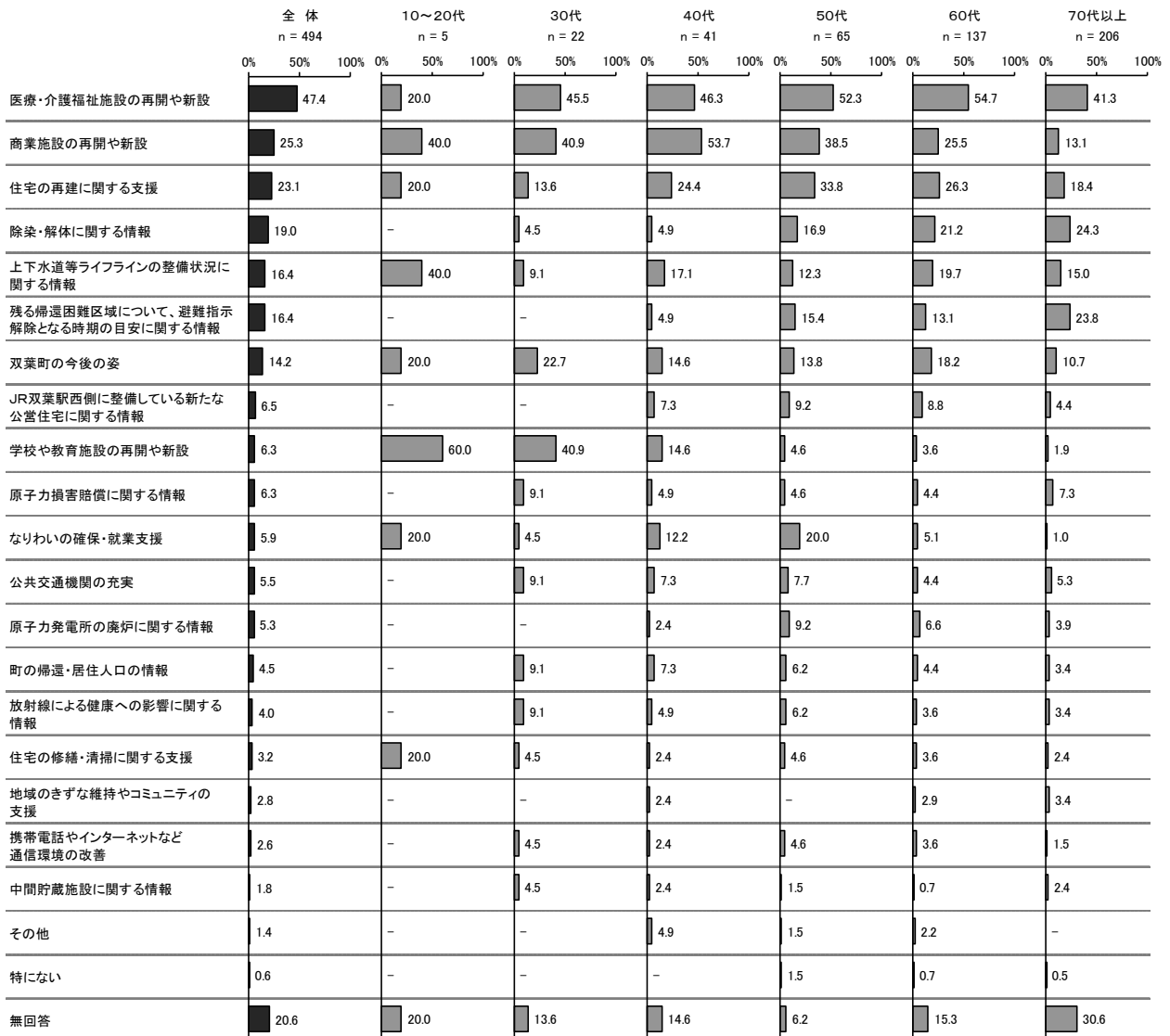


3-4-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと

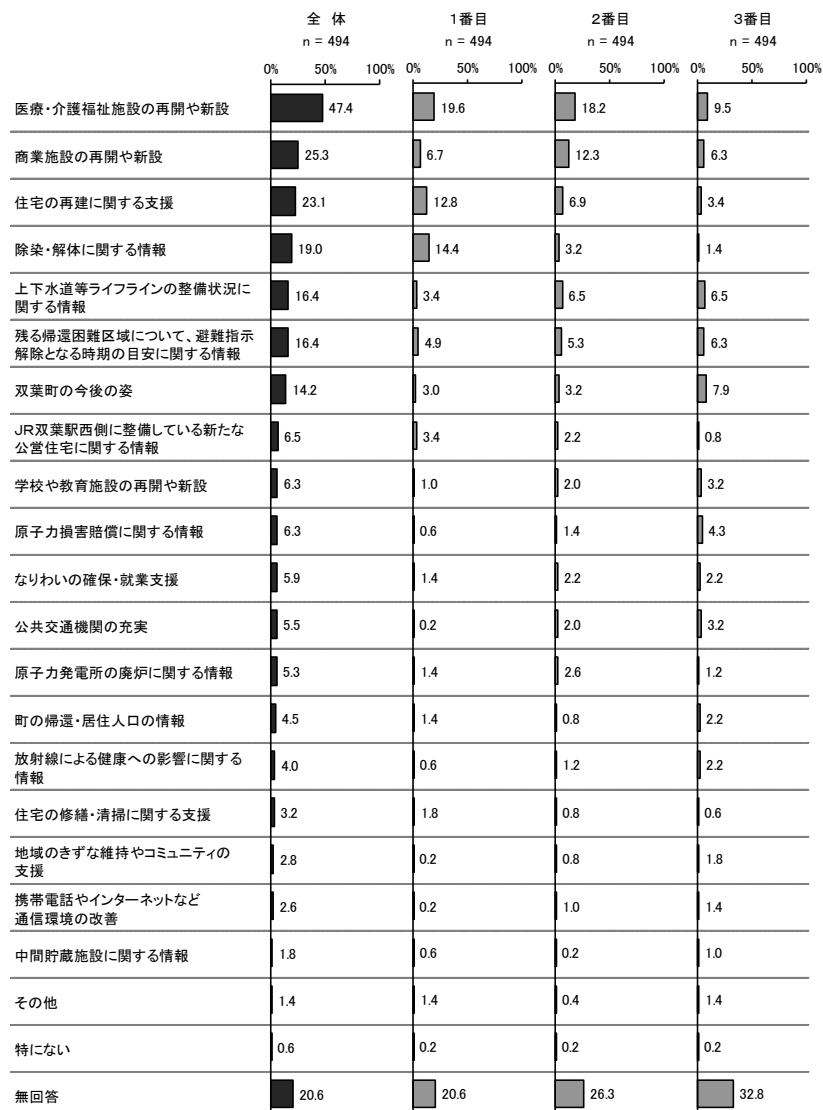
【問10で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問12-1 双葉町へ帰還することを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に必要な支援や情報内容をご記入ください。

<図表3-4-5-1 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



<図表3-4-5-2 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（優先順位別）>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【医療・介護福祉施設の再開や新設】

- ・子育て施設等の充実。（30代）
- ・小児科、内科、眼科、産婦人科。夜間・休日診察できる所があるといい。（40代）
- ・介護施設、デイサービス、特老等。（50代）
- ・双葉厚生病院の再開。（60代）

【商業施設の再開や新設】

- ・すでに決まっている施設以外の今後の見通し。（30代）
- ・仕事終わりの夕方～夜に、ご飯が買える場所。（40代）
- ・大規模な商業娯楽施設の整備。（50代）
- ・スーパー、コンビニエンスストア、ホームセンターの再開。（70代以上）

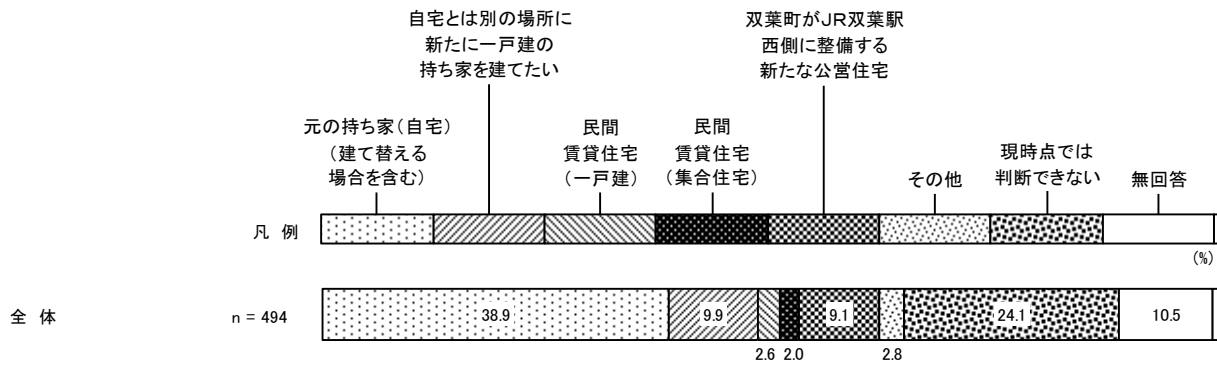
【住宅の再建に関する支援】

- ・別の市町村で家を建てた人でも、双葉町に帰りたいが、家を建てるお金がない人への支援等。（40代）
- ・帰還困難区域外の、土地・建物の取得に対する支援。（50代）
- ・住宅確保のための支援。宅地周辺の空き地、空き家の整備（隣の空き家が倒れそう、雑草がひどい）。（60代）
- ・建築業者選定のアドバイス。（70代以上）

3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問10で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問12-2 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態>



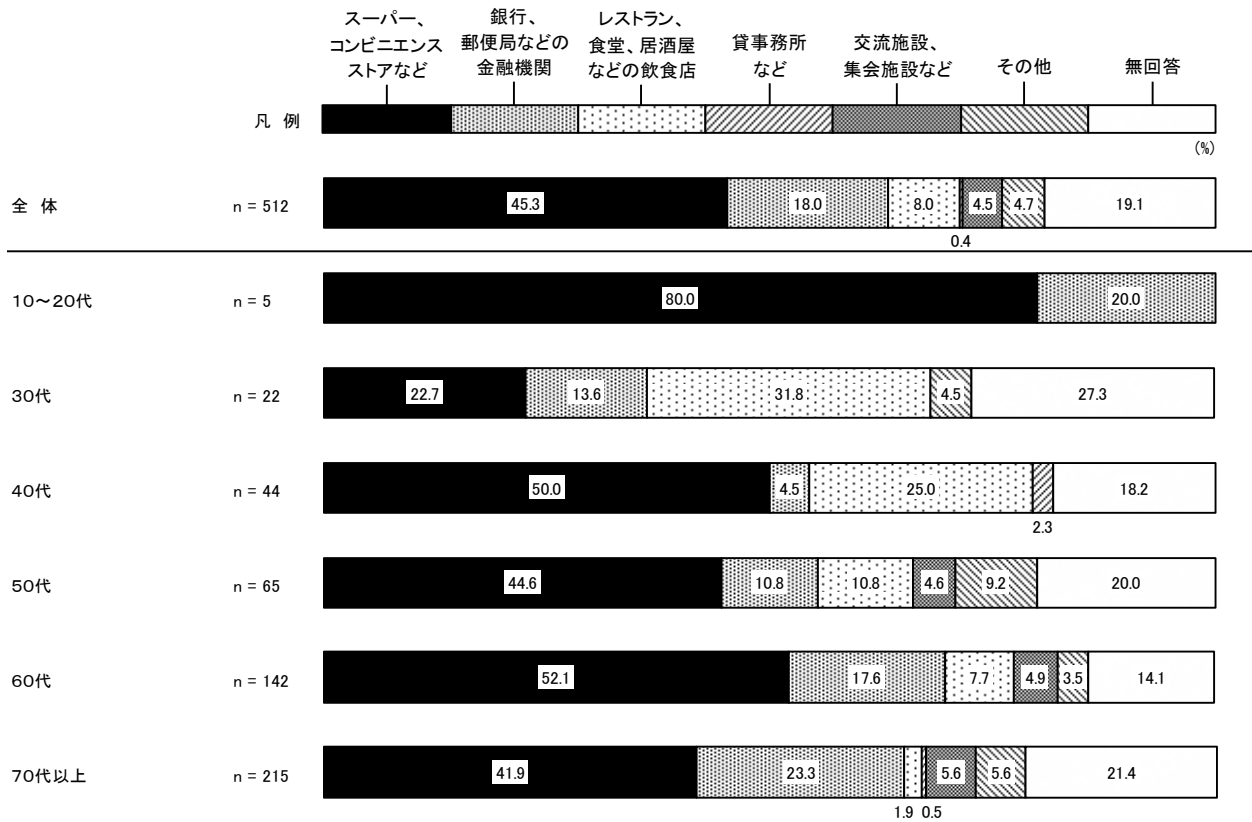
〔その他の内訳〕

自宅とは別の場所に集合住宅を購入したい	0.8%
給与住宅（社宅など）	0.6%
家族のどなたかのお住まい・実家	0.6%
親戚・知人宅	-
その他	0.8%

3-4-7 JR双葉駅東エリアの賑わいを再興するために必要な機能

【問10で「1.すでに双葉町に戻っている」「2.戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」「3.まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】
 問13-1 今後、JR双葉駅東エリアの賑わいを再興するための機能として、最も優先的に必要と思われるものを教えてください。(〇は1つ)

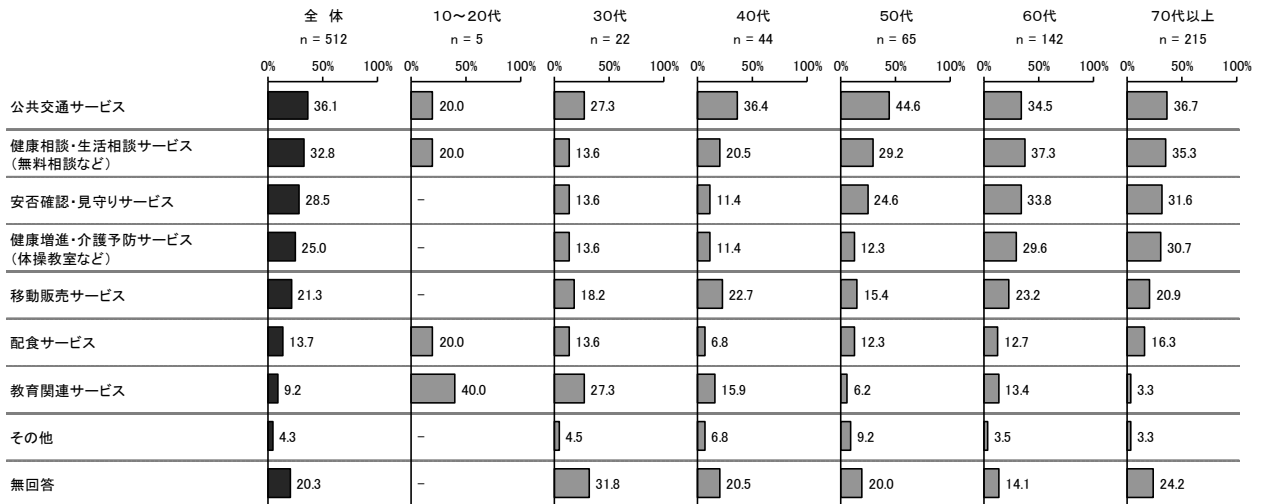
<図表3-4-7 JR双葉駅東エリアの賑わいを再興するために必要な機能(年齢別)>



3-4-8 JR双葉駅西エリア・東エリアに必要な生活関連サービス

【問10で「1. すでに双葉町に戻っている」「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかかっています。】
 問13-2 「JR双葉駅西エリア」及び「JR双葉駅東エリア」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。（〇は3つまで）

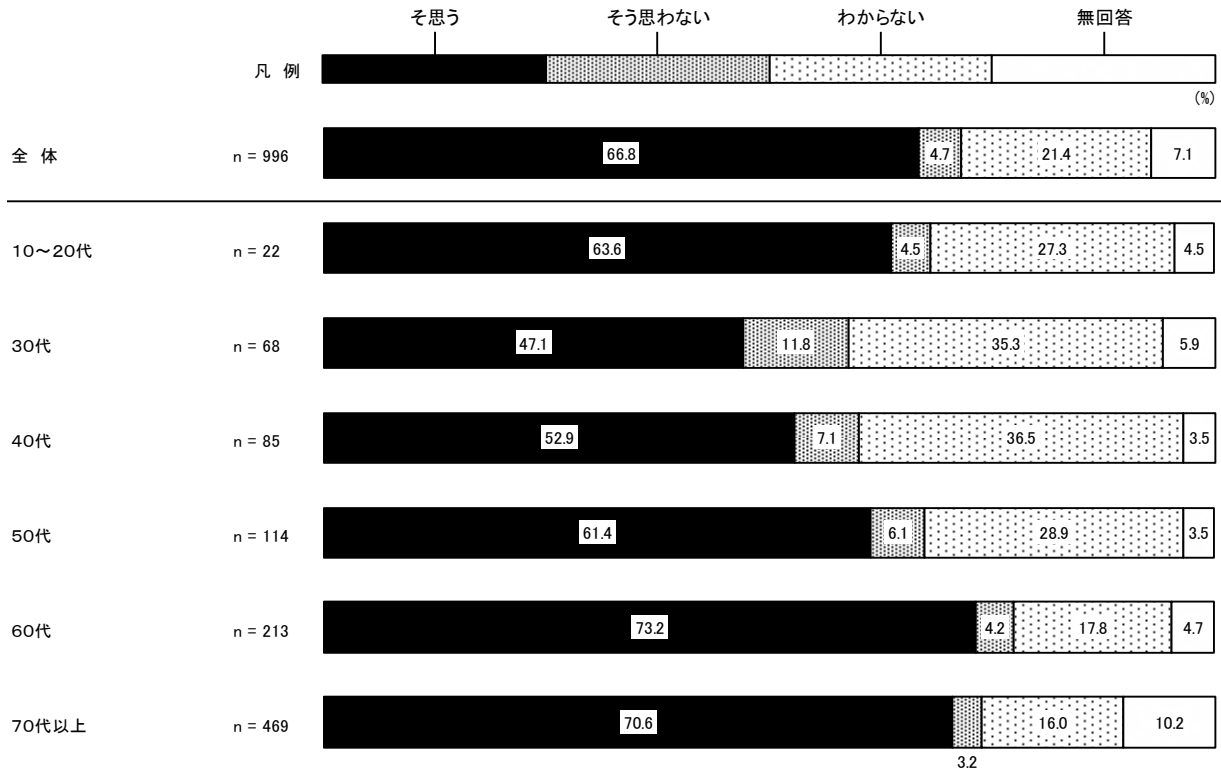
<図表3-4-8 JR双葉駅西エリア・東エリアに必要な生活関連サービス（年齢別）>



3-4-9 双葉町との「つながり」を保ちたいか

【問10で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問14-1 双葉町との「つながり」を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

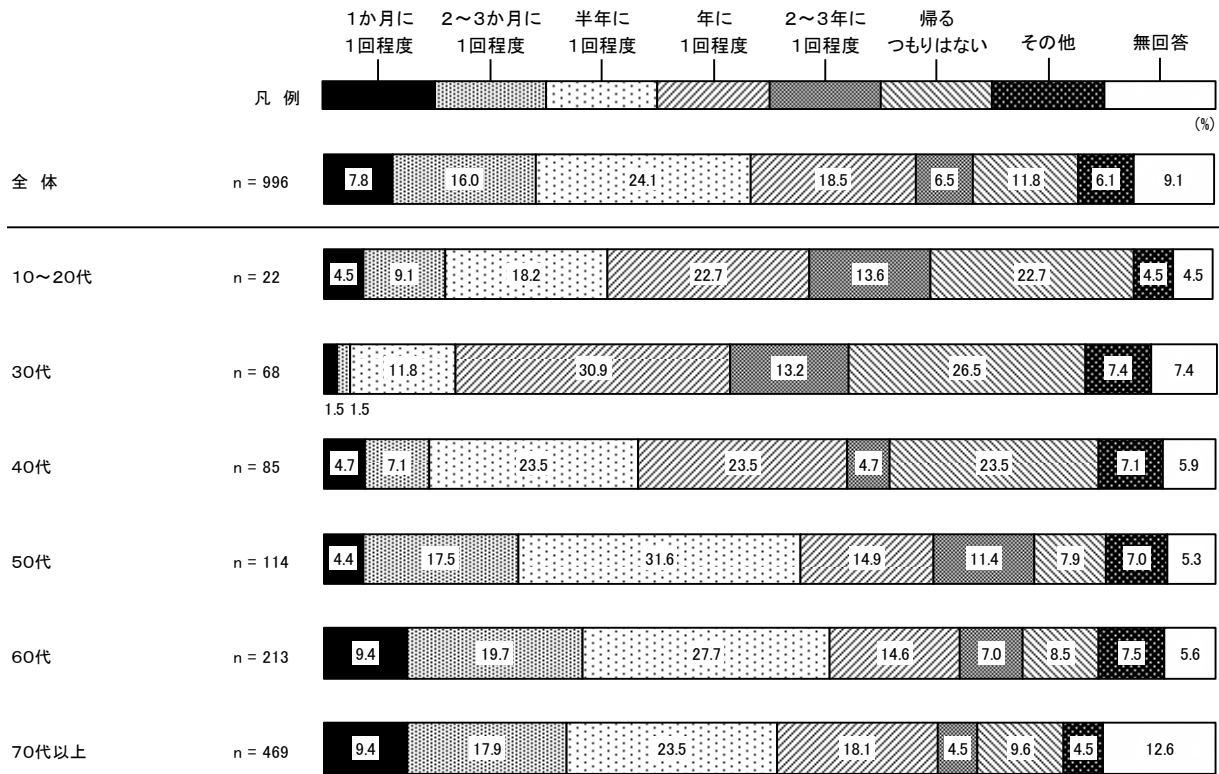
<図表3-4-9 双葉町との「つながり」を保ちたいか（年齢別）>



3-4-10 双葉町に帰りたい頻度

【問10で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。
問14-2 双葉町にどのくらいの頻度で帰りたいと思いますか。（〇は1つ）

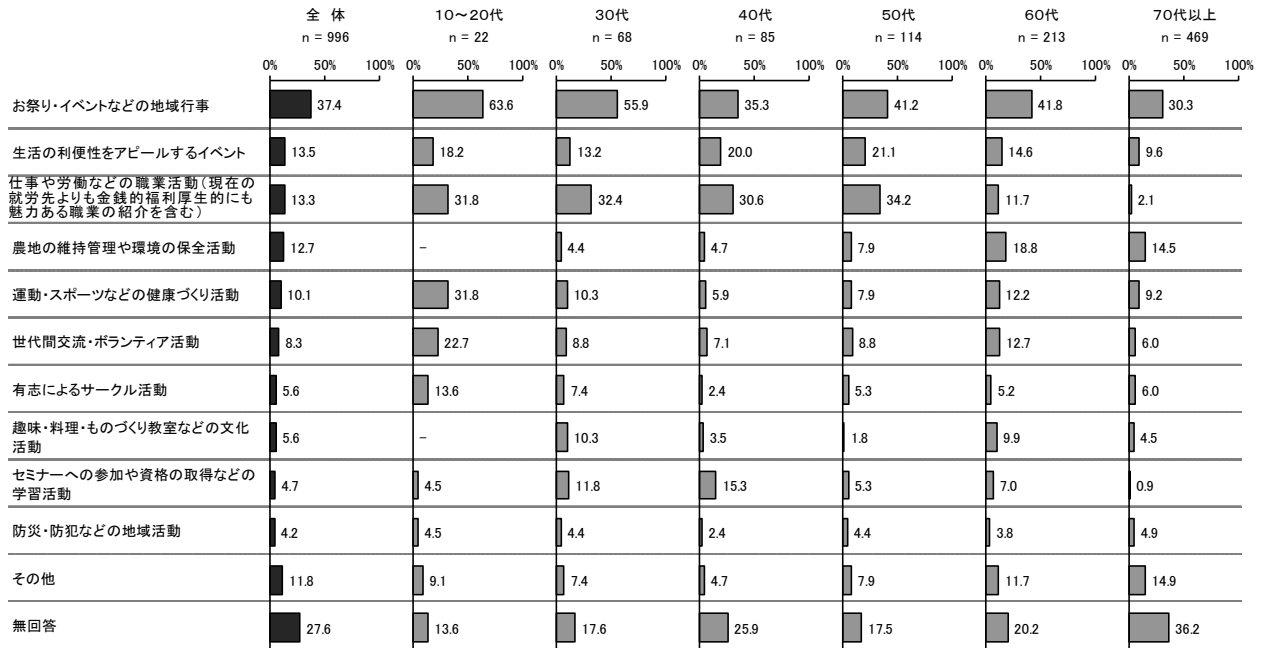
<図表3-4-10 双葉町に帰りたい頻度（年齢別）>



3-4-11 双葉町に帰りたくなる取り組み・行事・イベント

【問10で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問14-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町に帰りたと思いますか。
 （〇はいくつでも）

<図表3-4-11 双葉町に帰りたくなる取り組み・行事・イベント（年齢別）>

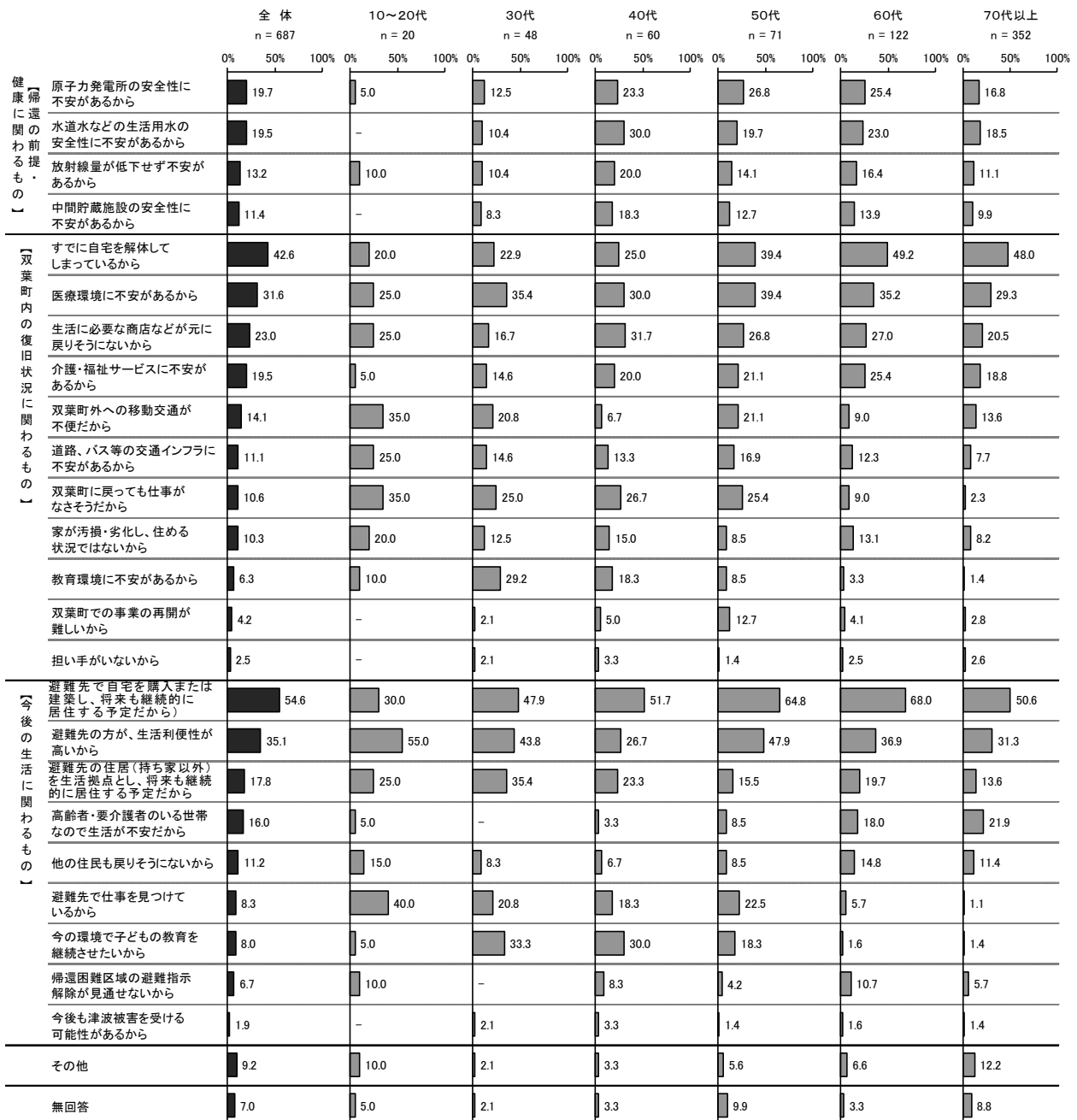


3-4-12 双葉町に戻らないと決めている理由

【問10で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問15-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。（〇はいくつでも）

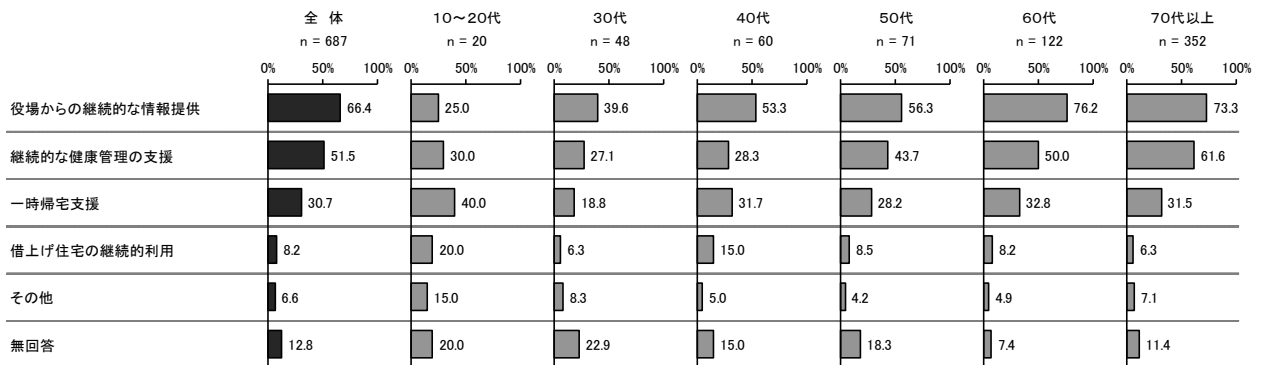
<図表3-4-12 双葉町に戻らないと決めている理由（年齢別）>



3-4-13 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

【問10で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問15-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。（〇はいくつでも）

<図表3-4-13 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>



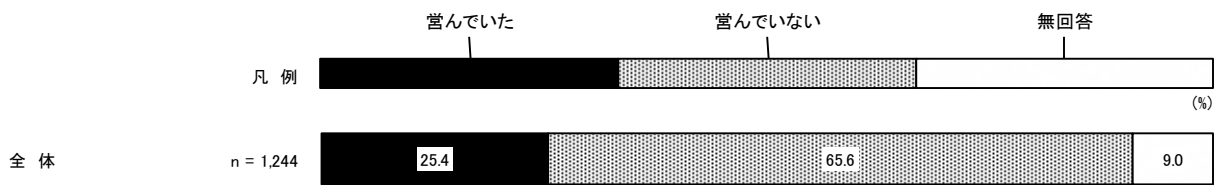
3-5 双葉町内での事業の実施

3-5-1 震災発生当時の双葉町内での事業

問16-1 あなたは震災発生当時、双葉町内で事業（*問16-2で挙げられているような事業など）を営んでいましたか。（〇は1つ）

- *問16-2 : 1. 農・林・漁・畜産業 2. 建設業 3. 製造業
 4. 運輸業 5. 卸・小売・飲食、サービス業 6. 金融・保険業
 7. 医療・福祉 8. 教育 9. その他

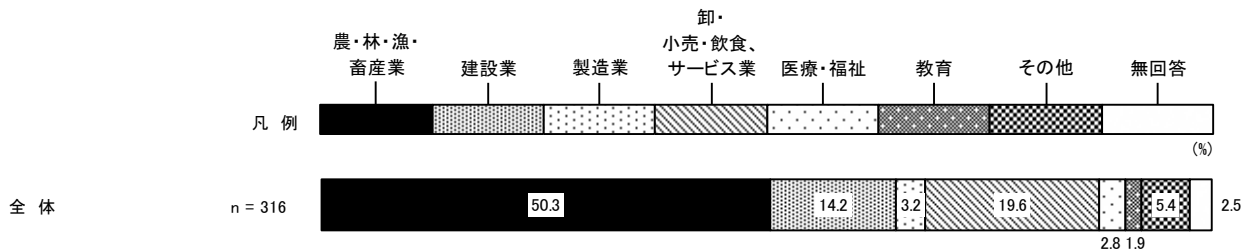
<図表3-5-1 震災発生当時の双葉町内での事業>



3-5-2 営んでいた事業の業種

【問16-1で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】
 問16-2 双葉町内で営んでいた事業の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-5-2 営んでいた事業の業種>



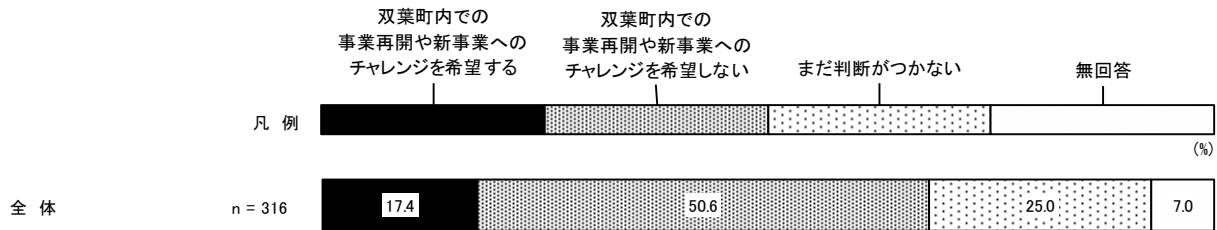
〔その他の内訳〕
 運輸業 0.6%
 金融・保険業 0.3%
 その他 4.4%

3-5-3 事業再開や新事業へのチャレンジの意向

【問16-1で「1. 営んでいた」と回答した方にかがいます。】

問16-3 今後、双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジについて、どのようにお考えですか。（〇は1つ）

＜図表3-5-3 事業再開や新事業へのチャレンジの意向＞

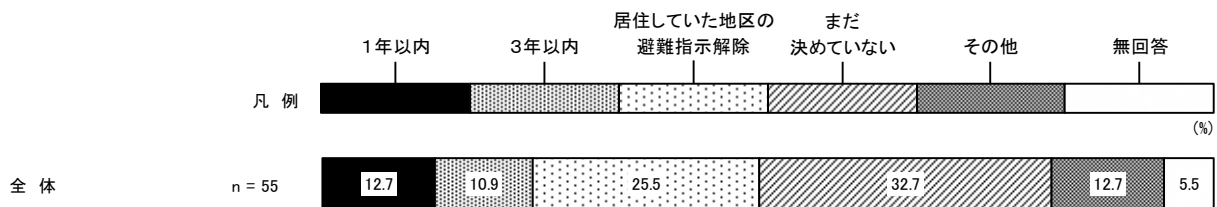


3-5-4 双葉町内での事業再開の希望時期

【問16-3で「1. 双葉町内での事業の再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方にかがいます。】

問16-4 双葉町内で事業を再開する希望時期はいつですか。（〇は1つ）

＜図表3-5-4 双葉町内での事業再開の希望時期＞

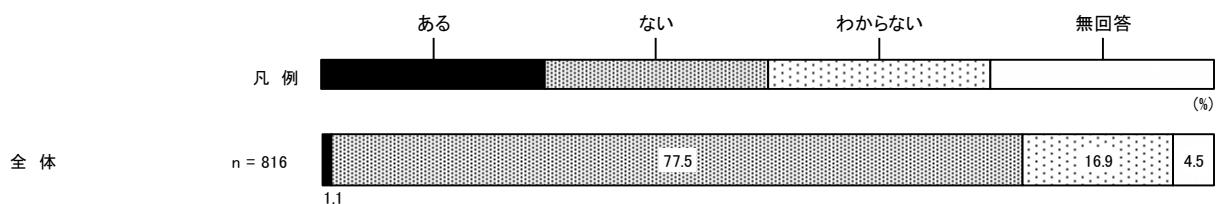


3-5-5 今後の新事業へのチャレンジの意向

【問16-1で「2. 営んでいない」と回答した方にかがいます。】

問16-5 今後、双葉町内で新たな事業へのチャレンジに取り組まれる希望はありますか。（〇は1つ）

＜図表3-5-5 今後の新事業へのチャレンジの意向＞

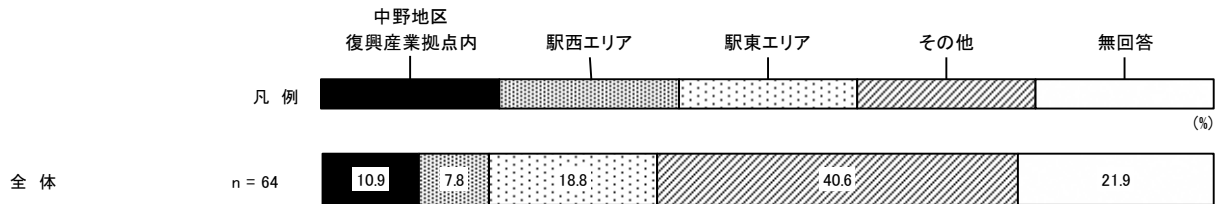


3-5-6 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所

【問16-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方もしくは問16-5で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問16-6 双葉町内で事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どの場所での事業実施を希望しますか。（〇は1つ）

<図表3-5-6 事業再開や新事業へのチャレンジを実施する場所>

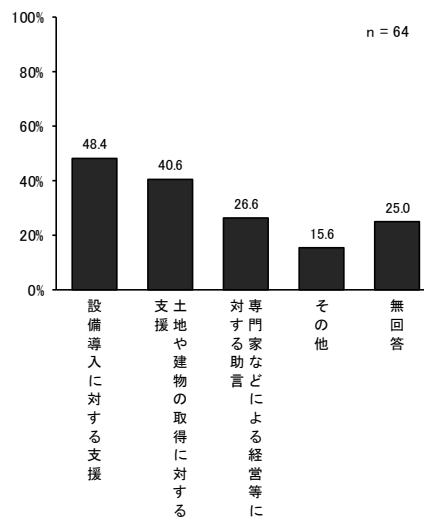


3-5-7 事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援

【問16-3で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方もしくは問16-5で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問16-7 双葉町内で事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どのような支援を求めますか。（〇はいくつでも）

<図表3-5-7 事業再開や新事業へのチャレンジにおいて必要な支援>

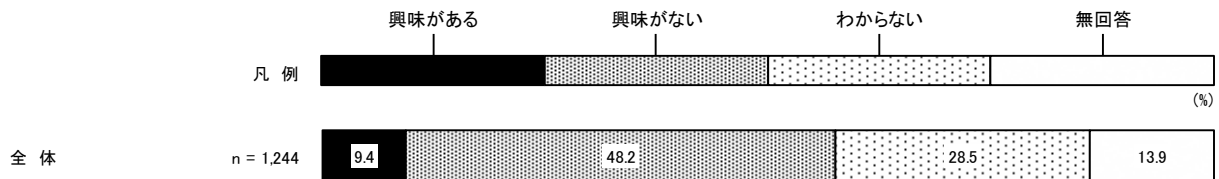


3-6 双葉町内での就業意向

3-6-1 双葉町内での就業意向

問17-1 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定し、すでに操業している企業もあります。また、双葉町産業交流センターには貸事務所もあり、多くの企業が入居しています。このように、双葉町内で働く環境が整ってきておりますが、今後、双葉町内で働くことに興味はありますか。（〇は1つ）

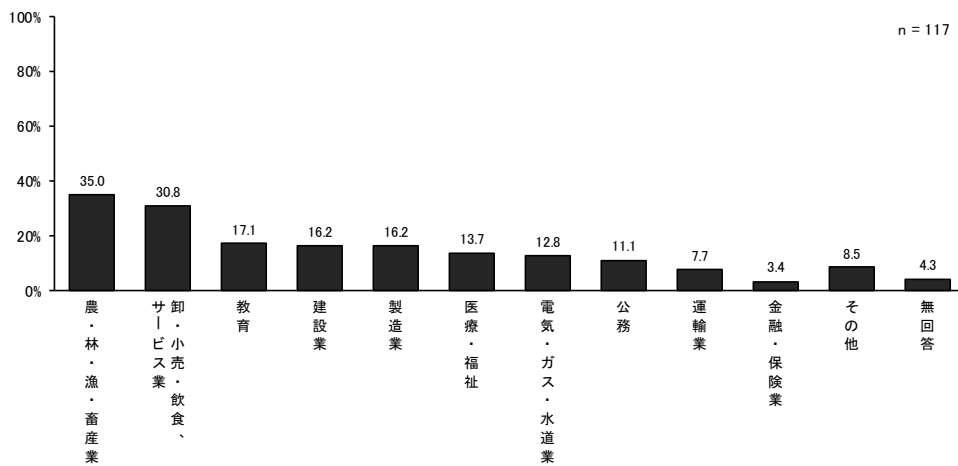
<図表3-6-1 双葉町内での就業意向>



3-6-2 就業を希望する業種

【問17-1で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】
問17-2 希望する業種は何ですか。（〇はいくつでも）

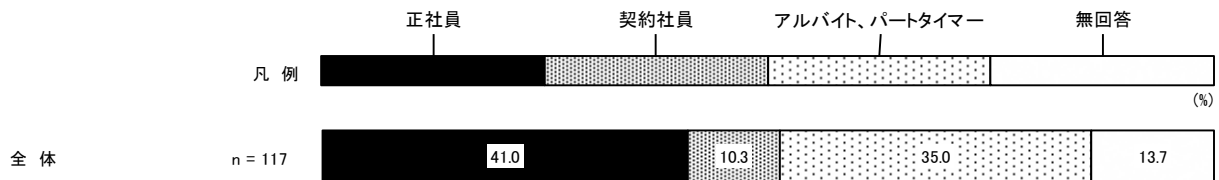
<図表3-6-2 就業を希望する業種>



3-6-3 就業を希望する雇用形態

【問17-1で「1. 興味がある」と回答した方にかがいます。】
 問17-3 希望する雇用形態は何ですか。（〇は1つ）

＜図表3-6-3 就業を希望する雇用形態＞



3-6-4 就業に必要な支援・施策

【問17-1で「1. 興味がある」と回答した方にかがいます。】
 問17-4 どのような支援・施策（住居・支度金・その他）があれば町内に勤めたいと思いますか。

就業に必要な支援・施策について、代表的なものは以下のとおり。

【就業したいと思う支援・施策】

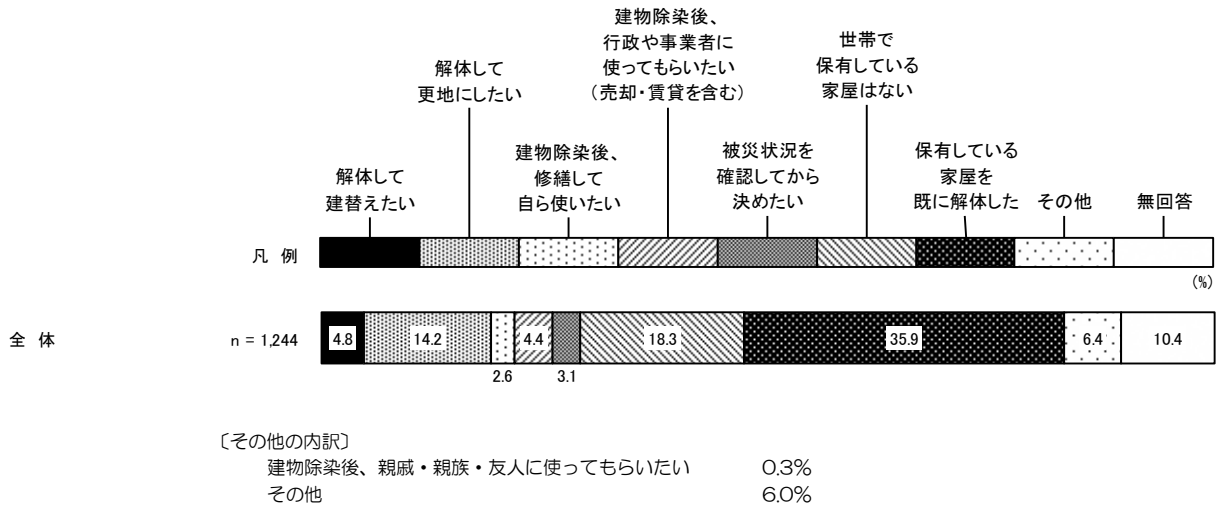
- ・就業に関する支援。（17件）
- ・住居の確保。（14件）
- ・就業場所の確保。（12件）
- ・住居に関する支援・補助。（9件）
- ・インフラの整備。（8件）
- ・支援金。（5件）
- ・健康に関する取り組み・支援。（3件）

3-7 不動産の取り扱い

3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向

問18 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

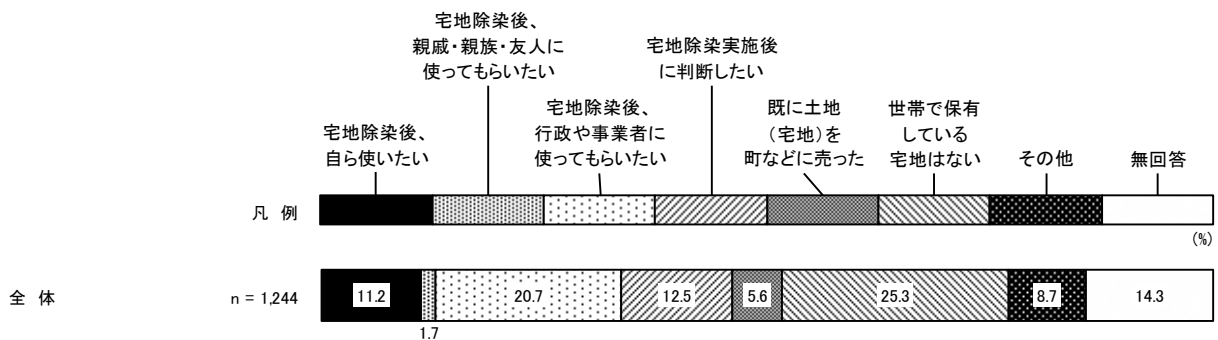
<図表3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向>



3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向

問19 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

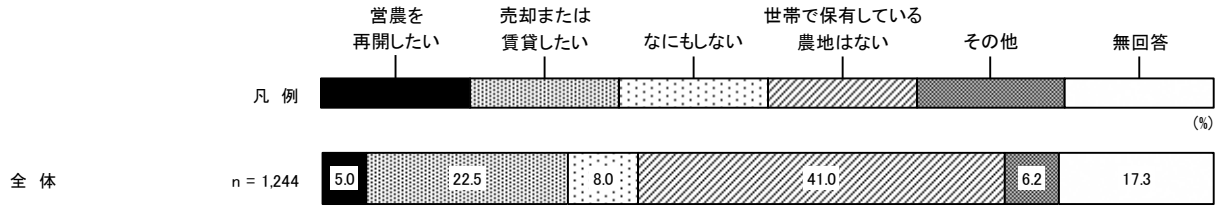
<図表3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向>



3-7-3 双葉町内に所有する農地の利用意向

問20 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。（○は1つ）

<図表3-7-3 双葉町内に所有する農地の利用意向>

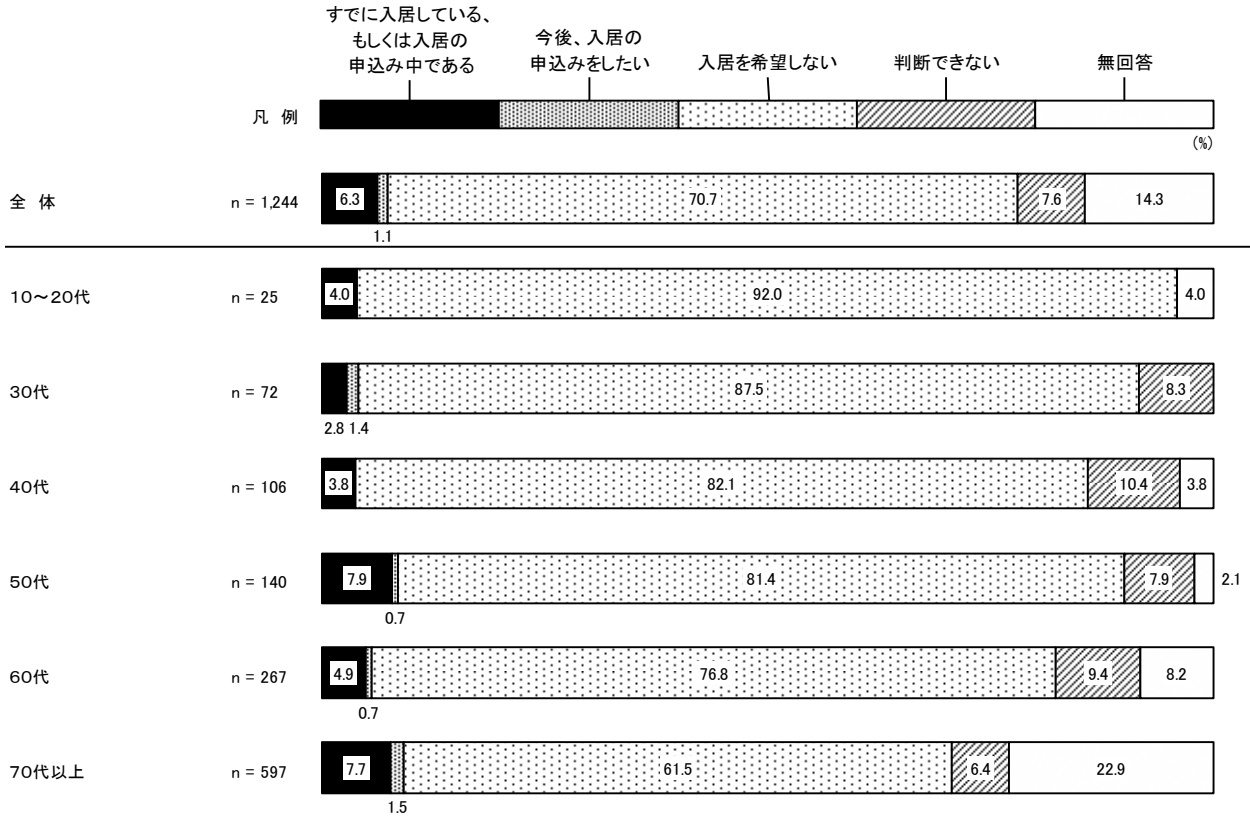


3-8 復興公営住宅

3-8-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向

問21-1 福島県営の復興公営住宅（双葉町外）への入居意向について教えてください。（〇は1つ）

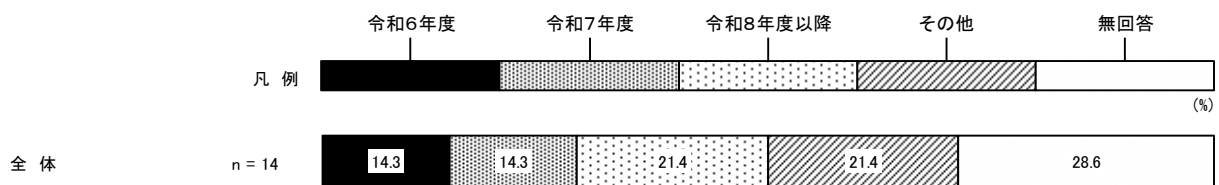
<図表3-8-1 福島県営の復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



3-8-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期

【問21-1で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にかがいます。】
問21-2 入居を希望する時期について教えてください。（〇は1つ）

<図表3-8-2 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する時期>

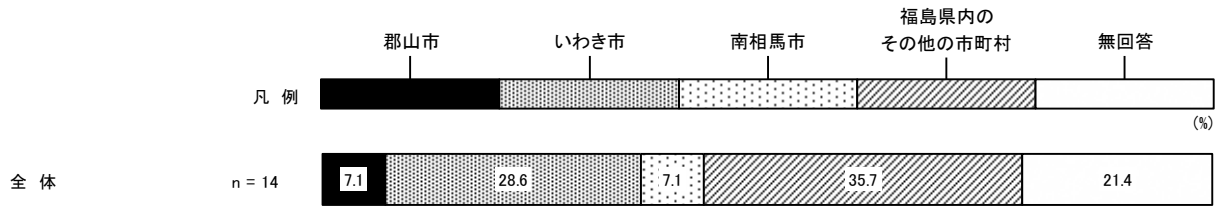


〔その他の内訳〕
令和5年度 -
その他 21.4%

3-8-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村

【問21-1で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。
 問21-3 入居を希望する市町村について教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-8-3 福島県営の復興公営住宅への入居を希望する市町村＞



〔その他の内訳〕

福島市	-
会津若松市	-
白河市	-
二本松市	-
田村市	-
本宮市	-
福島県内のその他の市町村	35.7%

3-9 双葉町産業交流センター

3-9-1 双葉町産業交流センターの利用経験

問22-1 令和2年10月に開所した双葉町産業交流センター内では、レストランやフードコート、コンビニなどがあります。また、貸会議室もあり集会やイベントなども行うことが可能です。これまでに双葉町産業交流センターを利用されたことがありますか。（〇は1つ）

<図表3-9-1 双葉町産業交流センターの利用経験>



3-9-2 双葉町産業交流センターへ訪問したくなる取組

問22-2 今後、どのような取組があれば訪れたいと思いますか。

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

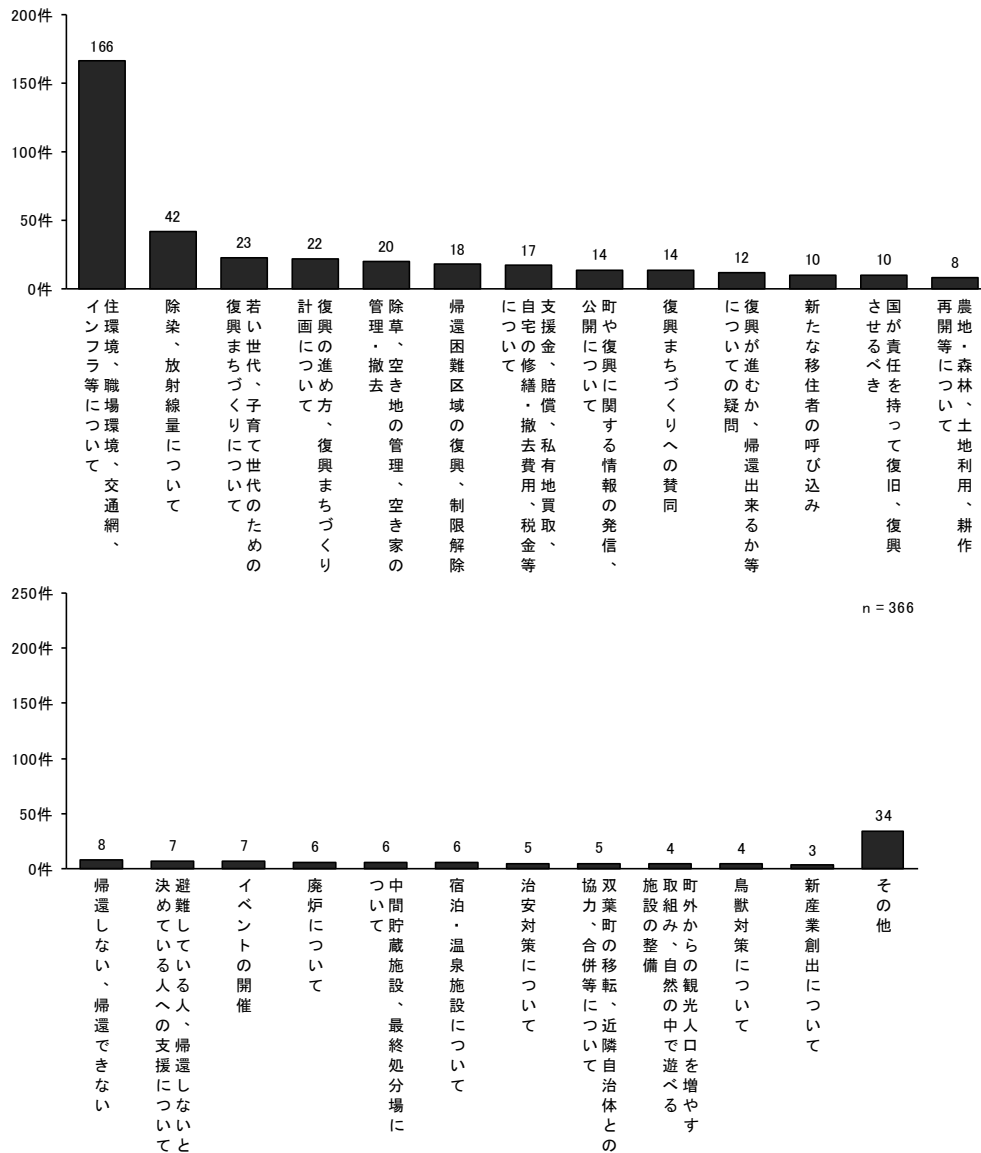
- ・イベント。(62件)
- ・地区ごとの住民のイベント・集会・交流・会議。(25件)
- ・お祭り・フェス。(18件)
- ・交通の利便性。(17件)
- ・町民の交流の場。(16件)
- ・スポーツ。(16件)
- ・同窓会。(15件)
- ・飲食店の充実・新設。(14件)
- ・だるま市。(10件)
- ・特産品の販売。(8件)
- ・音楽イベント。(7件)
- ・食のイベント・フェス。(6件)
- ・子ども用の施設。(6件)

3-10 意見・要望

3-10-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望

問23 今後、町内の復興を進めていくにあたり、帰還後に必要なもの、取り組んでほしいことなど、あなたのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

＜図表3-10-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望＞



III 調査結果（全項目）

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【住環境、職場環境、交通網、インフラ等について】

- 病院や町内のコンビニエンスストアの営業などが必要。（10～20代）
- 廃炉だけではなく、幅の広い職業があれば良いと思います（長く継続が出来そうな）。（30代）
- 医療機関が乏しいので、若い人が定住して将来を考えると不安になると思う。病院を作ってほしいと思います。また、駅周辺を開発して店舗を増やして来訪者が多く来る町にしてほしい。（40代）
- 双葉町の自宅を解体するにあたり、一時的に家財を預かってくれる倉庫があるとありがたい。一年を通して若い世代が集まって、マルシェが開かれるような大きな広場があるといいと思います。（50代）
- 医療機関の充実、交通機関の充実、郵便局、銀行の設置。働くことができる就労先の拡充。学校、介護施設、ドラッグストア等。（50代）
- 現在、双葉町役場北側に商業施設が誘致されるようですが、生活が便利になるかと思えます。また若い人たちが住めるように、教育設備が必要かと考えます。双葉町史を調べると、「町づくり」は「人づくり」が何より大切であると思えます。教育設備が無ければ若者が住める町にはならないと思えます。（60代）
- 近隣に総合病院、介護施設が絶対必要です。町内には健康増進、病気予防のために、プール、トレーニング施設、ゲーム広場（モグラたたき等）の、認知症予防のために老若男女が楽しめるスペースがあればいいと思います。皆が集まって、楽しく過ごせ、「次は何する？」と年配者が予定をたてられ、元気を持てる場所があるといいと思います。（60代）
- 双葉町に帰って一年になります。生活する上で大変な苦勞です。買物は原町、富岡町に行っています。今は車の運転をしているので良い方と思いますが、いずれかは困ると思う。医者も原町に行っています。早く当たり前の生活をしたいです。（70代以上）
- 賑わいのある街造り。近隣の町と連携した街造り（各々の特徴があってもよい）。企業の誘致。魅力ある町造り。福祉・医療の充実。企業誘致等により働く場が多い。これらによって、圏外から人口も流入があると思う。つまり商工業の活力のある町、県立高校を含めた文教の町にする。（70代以上）

【除染、放射線量について】

- 自宅、農地の除染作業（山田地区他、帰宅困難区域）。（10～20代）
- 新しい町づくりに帰還困難区域があるとイメージダウンなので、早急に除染を進めて、解除をすることが大切だと思います。現状で帰還するとすれば、子供の活気が戻ってほしいので、学校の整備、教育支援を行い、最低限度必要な食品等を取り扱うお店等の整備を行ってほしい。（30代）
- 町の完全除染ができれば戻ってもいいと思う。（40代）
- 町内の除染が進み、住宅が再建され、住民が戻る希望がないと復興は進まないと思えます。事故前の状態に早く戻して、戻る戻らないの判断はその後にするべきだと思う。自分たちも年をとるので、10年後に戻れるとなると、さすがに考えるかもしれません。（50代）
- 双葉町の基幹産業である農業に対する環境整備。具体的には、請戸川土地改良区の大柿ダムから取水した用水を流す水路の除染。現在羽鳥地区では先行しているが、これから除染が行われる復興拠点外の、更に西側の地区（用水路の上流）の除染も必要と考えます。（60代）
- 帰還困難区域の早めの除染。帰る人がいなければ除染しないのか？除染なしだったら誰も帰らないと思います。（60代）
- 廃炉、処理水の処理がスムーズに進める。除染を継続的に実施する。町内の線量、及び町内に住んでいる人、働いている人達の健康チェック。新山、長塚地区の再整備。（60代）
- 広範囲な放射線量低減維持。局所的汚染の除去（表面汚染含む）。（70代以上）
- 町内全ての地域の除染。元の地域に戻してほしい。時間がかかりすぎる。（70代以上）

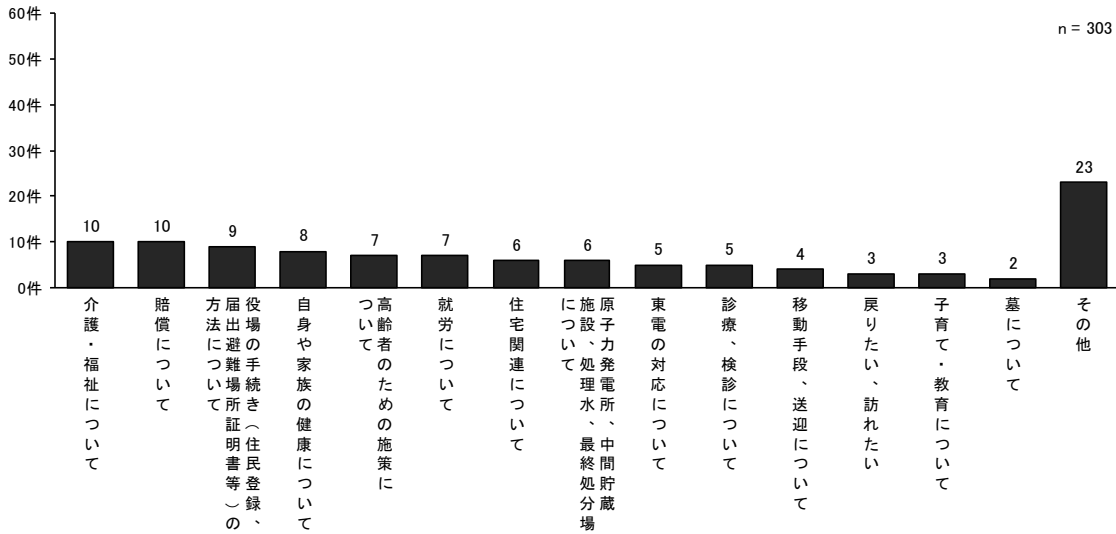
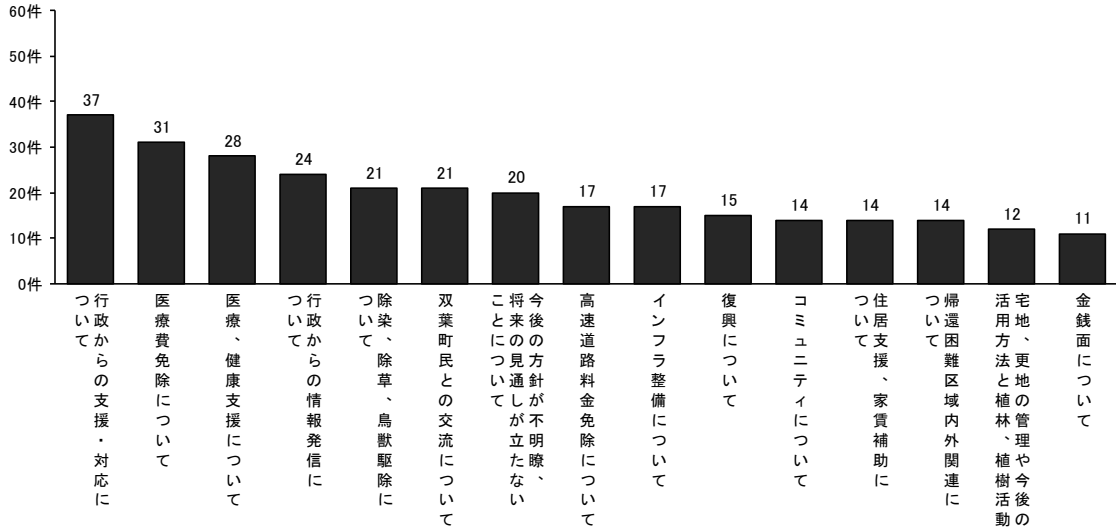
【若い世代、子育て世代のための復興まちづくりについて】

- 町外、県外、国外の方々が来られるような商業施設の建築、大型施設。若者が来たくなるような施設。アウトドアなどのアクティビティーなるもの。例えばキャンプ地など。就労にいたっては賃金の増加。育児に必要な補助金や施設。国外の方々が働けるような環境など。（10～20代）
- これからの町の運営のため、若者が多く活躍できる支援をしてもらいたい。定住した若者が次の双葉町の舵取りをし、更に若者を育てて町を繋いでいてもらいたい。（40代）
- 若い方が来たいと思うような町づくりを望みます。広域で取り組んでいくのもよいです。例：雇用、子育て支援など（40代）
- 町内の復興も大事ですが、人口の回復（戻ってくる人）も大事。若者が戻って来る、来たくなる要素が大切だと思う。（50代）
- 小・中学校開校に伴う体験型教育の整備。子育て世代を見越した就労場所の増加。（60代）
- 復興には、若い人達を取り込む必要があると思う。そのために、教育施設、医療施設、運動（遊び？）施設など、子育ての取り組みを早急に進める必要があると感じる。（60代）
- 双葉町に学校が再開されれば、家族が戻ってきて、人口も増えて…。簡単にはいかないと思いますが、子どもを中心に考えていただいての復興もあるのではないのでしょうか。（70代以上）
- これからの子供達が安心して住める町づくり。何年かかっても良いから、国が率先して、一日も早くこれからの子供が安心して住める町にしてほしい。双葉町の名前は残してほしい。（70代以上）
- 若い雇用を創生できる環境造りが重要と考える。日本でも特異な、若い世代が優遇される町造り。教育費（無償、他）、特別な小中学校教育（全て本格的な英語科）、日本中から注目される町造り。若者が教育を受けたい、子育てをしたいと思える場所（町）にしたい。（70代以上）

3-10-2 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること

問24 避難生活において困っていることや、改善を求めること等があればお書きください（医療、教育、健康支援、就労、コミュニティなど）。また、その他にも国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

<図表3-10-2 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政からの支援・対応について】

- ・県外から双葉町へ引っ越しする人に対して、支援金補助をお願い致します。新しい勤務先が決まるまでの支援金もあれば助かります。（50代）
- ・知り合いの方で、特定復興再生拠点区域にご自宅があった方は、土地を買い上げられたと聞いています。我が家は自宅の損壊がひどく既に解体しているが、所有していた土地はそのままとなっています。できれば国や県、町などに買い取っていただければと思っています（震災直前に100坪程の土地も購入していたため、合わせて250坪程の土地があります）。（50代）
- ・県外の住んでいる地区（市）の公共施設、図書カードが作れない、体育館が使えないなど、仕方ないとは思いますが少し不便です。一時帰宅の際、まだ電気が使えないので、ポータブル電源を町から借りられたら、掃除機が使えるのでお願いしたいです。庭などで使用する為、精密な線量計は高額な為、町で準備して頂きたいです。（50代）
- ・避難先の固定資産税の支払いはいつまでこれが続くのか。双葉町でも税の徴収が始まる。二軒分の税金の支払いがいつまでできるのか。仕事の関係でいわきを離れる事ができない。この先明るい未来は見えてこない。（60代）
- ・農地保全が令和6年度で終了と聞いておりますが、その後の継続を町へ要望します。県の補助を要望します。（60代）
- ・農地等後継者がいない人のために、土地の売却先の斡旋等をしてほしい（60代）
- ・町に戻った人、戻らない人に差のない支援を願いたい。（県内避難、県外避難）。（60代）
- ・帰還困難区域が解除にならなければ、医療費免除や税金免除を続けてほしい。（70代以上）
- ・原発避難者特例法が改正されると思う。双葉町に在籍し引き続き町以外の場所で生活した場合、これまで通りの行政サービスが受けられるようサポートして欲しい。（70代以上）

【医療費免除について】

- ・現在離れた地で普通の安定した生活をしている中で、時折、双葉町からの状況や取り組等の情報を頂きありがたく思っています。医療費免除はとても助かっています。（30代）
- ・医療費免除措置の継続。（40代）
- ・継続的な医療や家賃補助は、ぜひお願いしたいです。なくなると生活が苦しくなります。（50代）
- ・健康保険一部負担金免除証明書の継続をお願い致します。（50代）
- ・医療費の免除を今後も継続してもらいたいと切に願う。（60代）
- ・医療費免除はありがたいです。震災前は大変健康でしたが、避難生活（8ヶ所移動）後に病気を発症し、月に2回医者に行ってます。免除があるからいいが、家族3人が罹っていますので、なくなったら生きていけないです（薬代が高い特別な薬です）。（60代）
- ・避難後病院に通院することが多くなりました。今後も医療費の免除が続くことを希望します。（70代以上）
- ・家にも戻れない年金暮らしの高齢者に、今後も借上げ住宅、医療費など継続して頂きたいです。有料になったら、どう生活出来るか不安です。無償継続出来ますように、お願い致します。（70代以上）
- ・避難生活を送る様になってから、体を動かす時間がなくなり、周りの近所とのつきあいがなくなり、体を壊している今は、3ヶ所の病院通いです。今は医療費免除になっていますが、なくなると医療代が大変です。継続をお願いします。（70代以上）

【医療、健康支援について】

- ・総合病院の一日も早い開院をお願いしたいです。皮膚科や眼科は近くにはないので、いわきに通っています。（60代）
- ・幸いに現在特に不自由な点は無いです。加齢と共に心配事が出現するかもしれないので、そういう面でのカウンセリング、サポート等の側面的支援があれば良いと思います。（60代）
- ・近場での医療機関で健康診断を受けたい。受診出来る病院を近辺で増してほしい。（60代）
- ・双葉町の介護施設等の設置。健康を維持できなくなった時や運転免許返納した場合、施設を希望するしないにかかわらず、近隣の介護施設に入居せざるを得ない。全国に散らばっている現状の町民は不安に思っています。社協にも支援をしてもらいたい。（70代以上）
- ・医療関係の通院先がわかりにくい。健康支援の回数を増やして下さい。（70代以上）
- ・10年以上たって、体の方も手術をして、病院が心配です。（70代以上）
- ・健康支援、コミュニティなどに力を入れていただければありがたいです。（70代以上）
- ・他県で避難生活をしている者として、日頃から医療健康支援をしていただき県町に対して感謝申し上げます。現状の医療健康支援の継続をお願い申し上げます。（70代以上）
- ・健康支援のアドバイスを要望する。（70代以上）

IV 參考資料

4-1 使用調査票

令和5年度 双葉町住民意向調査

町民の皆様におかれましては、長期にわたる避難生活において、大変なご苦勞をおかけしております。

本調査は、皆様の今後の生活設計や双葉町との関わり方についてのお考えをお伺いし、令和4年8月に避難指示解除された旧特定復興再生拠点区域を中心として、今後のまちづくりや避難を継続される町民の皆様への支援の検討などに活かすことを目的に実施する調査となっております。

双葉町は、まずは避難指示解除された区域を中心として、復興や新たなまちづくりを進めてまいります。本調査で皆様からいただいた貴重なご意見やご要望を新たなまちづくりに活かしてまいりたいと考えておりますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

【調査実施主体】 双葉町・復興庁・福島県

【問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

フリーダイヤル 0120-912-958
[設置期間：10月31日（火）～11月17日（金）10時～17時]
土・日・祝を除く

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域復興局 避難地域復興課
電話 024-521-8436

双葉町

〒979-1495 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
復興推進課
電話 0240-33-0127（直通）

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ・震災発生時、双葉町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・**世帯単位でご回答頂きますよう**お願いします。
現在、世帯が何箇所かに分かれて避難されている方には、**それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票が送付されたお住まい単位でのご回答**をお願いします。

● ご回答方法

- ・ご回答は、令和5年10月30日時点であてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、() 内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、地名、数などできる限り具体的にご記入ください。
- ・ご回答にあたっては是非、同封の資料も併せてご一読いただければ幸いです。

● 個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、双葉町、福島県および復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・結果の公表の際に、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**11月19日(日)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

皆様のご意向やご意見に丁寧に対応することができるよう、敢えて記名式とさせていただいております。大変お手数ではありますが、氏名、ご連絡先のご記入をお願いします。

あなたの氏名を教えてください。

あなたの連絡先(電話番号)を教えてください。

ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 現在のあなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. ～19歳 | 6. 40～44歳 | 11. 65～69歳 |
| 2. 20～24歳 | 7. 45～49歳 | 12. 70～74歳 |
| 3. 25～29歳 | 8. 50～54歳 | 13. 75～79歳 |
| 4. 30～34歳 | 9. 55～59歳 | 14. 80歳以上 |
| 5. 35～39歳 | 10. 60～64歳 | |

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 2-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|-----------------------------------|
| 1. 新山 | 8. 長塚一 | 15. 中田 |
| 2. 下条 | 9. 長塚二 | 16. 両竹 |
| 3. 郡山 | 10. 下長塚 | 17. 浜野 |
| 4. 細谷 | 11. 羽鳥 | 18. その他 |
| 5. 三字 | 12. 寺松 | } ⇒ 問3へ
〔わからない場合は、住所を記載してください〕 |
| 6. 山田 | 13. 渋川 | |
| 7. 石熊 | 14. 鴻草 | |
| | | |

【問 2-1 で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】

問 2-2 震災発生当時のお住まいが、現在、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。(○は1つ)

1. 避難指示解除区域(旧特定復興再生拠点区域)
2. 帰還困難区域(中間貯蔵施設区域)
3. 帰還困難区域(中間貯蔵施設区域以外)
4. わからない

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に:〕 |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問4 あなたが現在お住いの自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 広野町 5. 楡葉町 6. 富岡町 7. 川内村 8. 浪江町 9. 葛尾村 10. 大熊町 11. 新地町 12. 飯館村 13. 双葉町</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>14. 福島市 15. 郡山市 16. 白河市 17. 須賀川市 18. 二本松市 19. 川俣町 20. 田村市 21. 伊達市 22. 本宮市 23. 鏡石町 24. 西郷村 25. 矢吹町 26. 棚倉町 27. 三春町</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>28. 会津若松市 29. 喜多方市 30. 会津坂下町</p> <p>【 そ の 他 】</p> <p>31. 1～30以外の福島県内市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村)
<p>【 福島県外 】</p> <p>32. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px;"></div> (市・区・町・村) </div>		

【すべての方にうかがいます。】

問5 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

(2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

【すべての方にかがいます。】

問 6 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態)(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)	8. 学生	} ⇒ <u>問7へ</u>
2. 自営業・会社経営者(休業中)	9. 無職(職を探していない)	
3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)	10. 無職(職を探している)	} ⇒ <u>問7へ</u>
4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)	11. その他	
5. 団体職員	【具体的に:	
6. 公務員		
7. パート・アルバイト	】	

【仕事に就いている方(問6(1)で1~7、11のいずれかに回答した方)にかがいます。】

(2) 業種(○は1つ)

1. 農・林・漁・畜産業	7. 金融・保険業	} ⇒ <u>問7へ</u>
2. 建設業	8. 医療・福祉	
3. 製造業	9. 教育	
4. 電気・ガス・水道業	10. 公務	
5. 運輸業	11. その他	
6. 卸・小売・飲食、サービス業	【具体的に:	
	】	

【すべての方にかがいます。】

問 7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家	} ⇒ <u>問7へ</u>
2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	8. 親戚・知人宅	
3. 福島県営などの復興公営住宅(2は除く。有償)	9. 持ち家(ご本人またはご家族所有)	
4. その他の公営住宅(3は除く。有償)	10. その他	
5. 民間賃貸住宅(有償)	【具体的に:	
6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)		
	】	

IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

問 8 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 広報ふたば | 8. マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など) |
| 2. つなげようつながろう「ふたばのわ」 | 9. 行政区の総会、自治会や婦人会などの交流会等 |
| 3. 広報ふたばダイジェスト(動画) | 10. その他 (具体的に: |
| 4. ふたばアプリ |) |
| 5. 町公式ホームページ(パソコンなど) | |
| 6. ニュースふたば(動画) | |
| 7. メールマガジン | |

【すべての方にうかがいます。】

問 9 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 住宅・暮らしの情報 | 8. 原子力発電所廃炉関連情報 |
| 2. 健康・医療・福祉関連情報 | 9. 中間貯蔵施設関連情報 |
| 3. 子育て・教育関連情報 | 10. イベント・交流会に関する情報 |
| 4. 雇用・就労・就農関連情報 | 11. その他 (具体的に: |
| 5. 復興まちづくり関連情報 |) |
| 6. 放射線量・除染情報 | |
| 7. 原子力損害賠償関連情報 | |

将来に関するご意向についてお聞かせください。

町の現状と将来について

双葉町は、昨年8月30日に旧特定復興再生拠点区域内の避難指示が解除され、町民の皆さんの帰還がはじまり1年が経ちました。2023年10月1日現在の町内の居住者は76世帯、95人となっており、ご自宅や公営住宅、町内のアパートで生活をされています。

双葉駅西側地区において町民の皆さまの帰還や就業者、移住者向けに86戸の町営住宅の整備を進めており、供用開始された住宅では9割近い入居となっています。令和6年5月には全戸完成予定で、来年1月には入居者の募集を予定しています。

駅東地区の整備について、旧町体育館跡地に公設の商業施設を建設する予定であり、役場庁舎隣接地には小売店の整備も計画しております。また、国有形文化財に指定された旧田中医院の洋館を改修し交流の場を作るなど、町民の皆さんの生活環境の向上と賑わいを創出するエリアとして整備してまいります。

農業について、営農再開に向けて町内6地区において、関係者のご尽力により、農地の保安全管理活動が進められ、営農再開に向けて農地の保安全管理活動などの取り組みが進められています。

医療・健康・福祉・介護について、一次医療機関として双葉町診療所が2月1日に開所したところですが、帰還される方並びに移住される方の医療に対する安心・安全を確立するとともに、健康不安を払拭するための医療体制づくりを行ってまいります。

引き続き、避難指示解除以降の具体的な施策を展開するとともに、さらなるスピード感を持って双葉町の復興・復旧に全力で取り組んでまいります。

【すべての方にうかがいます。】

問 10 今後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. すでに双葉町に戻っている ⇒ [問 13-1\(8 ページ\)へ](#)
2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) ⇒ [問 11-1\(6 ページ\)へ](#)
3. まだ判断がつかない ⇒ [問 12-1\(7 ページ\)へ](#)
4. 戻らないと決めている ⇒ [問 14-1\(9 ページ\)へ](#)

問 11-1 からは、
問 10 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 11-1 今後、何年以内に戻りたいと考えていますか。（○は1つ）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 1年以内 2. 3年以内 3. 5年以内 4. しばらく様子を見たい | <ul style="list-style-type: none"> 5. 帰還困難区域にある自宅に帰れるようになるまで待ちたい 6. その他 { 具体的に: } |
|--|---|

【問 10 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 11-2 戻る場合に家族の全員なのか、又は一部なのかについて教えてください。（○は1つ）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 家族全員での帰還を考えている 2. 家族の内、一部での帰還を考えている 3. 現在検討しているところ 4. まだわからない | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ <u>問 12-1(7 ページ)へ</u> ⇒ <u>問 11-3 へ</u> } ⇒ <u>問 12-1(7 ページ)へ</u> |
|---|---|

【問 11-2 で「2. 家族の内、一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

ア) 18歳未満	人	ウ) 65歳以上の方	人
イ) 18歳以上65歳未満	人		

問 12-1 からは、問 10 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。

【問 10 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問 12-1 双葉町へ帰還することを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に必要と考える支援や情報内容をご記入ください。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 除染・解体に関する情報 | 11. 上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報 |
| 2. 住宅の修繕・清掃に関する支援 | 12. 地域のきずな維持やコミュニティの支援 |
| 3. 住宅の再建に関する支援 | 13. 原子力発電所の廃炉に関する情報 |
| 4. JR双葉駅西側に整備している
新たな公営住宅に関する情報 | 14. 放射線による健康への影響に関する情報 |
| 5. 商業施設の再開や新設 | 15. 中間貯蔵施設に関する情報 |
| 6. 医療・介護福祉施設の再開や新設 | 16. 残る帰還困難区域について、避難指示解除
となる時期の目安に関する情報 |
| 7. 学校や教育施設の再開や新設 | 17. 原子力損害賠償に関する情報 |
| 8. 公共交通機関の充実 | 18. 町の帰還・居住人口の情報 |
| 9. なりわいの確保・就業支援 | 19. 双葉町の今後の姿 |
| 10. 携帯電話やインターネットなど
通信環境の改善 | 20. その他 |
| | 21. 特にない |

優先順位	選択肢番号	具 体 的 な 内 容
(例) 1番目	(例) 6	(例) ○○病院の再開
1番目		
2番目		
3番目		

【問 10 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問 12-2 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)
2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい
3. 自宅とは別の場所に集合住宅を購入したい
4. 民間賃貸住宅(一戸建)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 双葉町がJR双葉駅西側に整備する新たな公営住宅
7. 給与住宅(社宅など)
8. 家族のどなたかのお住まい・実家
9. 親戚・知人宅
10. その他(具体的に: _____)
11. 現時点では判断できない

問 13-1 からは、問 10 で「1.すでに双葉町に戻っている」
「2.戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「3.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「1.すでに双葉町に戻っている」「2.戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「3.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 今後、JR 双葉駅東エリアの賑わいを再興するための機能として、最も優先的に必要と思われるものを教えてください。(○は1つ)

1. スーパー、コンビニエンスストアなど
2. 銀行、郵便局などの金融機関
3. レストラン、食堂、居酒屋などの飲食店
4. 貸事務所など
5. 交流施設、集会施設など
6. その他(具体的に:)

【問 10 で「1.すでに双葉町に戻っている」「2.戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「3.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 13-2 「JR双葉駅西エリア」及び「JR双葉駅東エリア」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。(○は3つまで)

1. 安否確認・見守りサービス
2. 健康相談・生活相談サービス(無料相談など)
3. 健康増進・介護予防サービス(体操教室など)
4. 配食サービス
5. 移動販売サービス
6. 公共交通サービス
7. 教育関連サービス
8. その他(具体的に:)

☐ → 問 10 で「1.すでに双葉町に戻っている」
「2.戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は問 16-1(11 ページ)へ

☐ → 問 10 で「3.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 14-1(9 ページ)へ

問 14-1 からは、問 10 で「3. まだ判断がつかない」
「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

【問 10 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

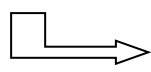
問 14-2 双葉町にどのくらいの頻度で帰りたいと思いますか。(○は1つ)

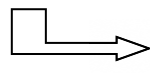
- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 1か月に1回程度 | 5. 2～3年に1回程度 |
| 2. 2～3か月に1回程度 | 6. 帰るつもりはない |
| 3. 半年に1回程度 | 7. その他 { 具体的に: |
| 4. 年に1回程度 | } |

【問 10 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 14-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町に帰りたいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1. 有志によるサークル活動 | 8. 仕事や労働などの職業活動(現在の就労先よりも金銭的福利厚生的にも魅力ある職業の紹介を含む) |
| 2. 趣味・料理・ものづくり教室などの文化活動 | 9. 農地の維持管理や環境の保全活動 |
| 3. 運動・スポーツなどの健康づくり活動 | 10. 生活の利便性をアピールするイベント |
| 4. お祭り・イベントなどの地域行事 | 11. その他 { 具体的に: |
| 5. 世代間交流・ボランティア活動 | } |
| 6. 防災・防犯などの地域活動 | |
| 7. セミナーへの参加や資格の取得などの学習活動 | |

 問 10 で「3.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 16-1(11 ページ)へ

 問 10 で「4.戻らないと決めている」を選んだ方は問 15-1(10 ページ)へ

問 15-1 からは、問 10 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 10 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 15-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安があるから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 中間貯蔵施設の安全性に不安があるから
4. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【双葉町内の復旧状況に関わるもの】

5. 双葉町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 双葉町での事業の再開が難しいから
7. 担い手がいないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. すでに自宅を解体してしまっているから
10. 双葉町外への移動交通が不便だから
11. 道路、バス等の交通インフラに不安があるから
12. 医療環境に不安があるから
13. 介護・福祉サービスに不安があるから
14. 教育環境に不安があるから
15. 生活に必要な商店などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

16. 避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから
17. 避難先の住居(持ち家以外)を生活拠点とし、将来も継続的に居住する予定だから
18. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
19. 他の住民も戻りそうにないから
20. 今後も津波被害を受ける可能性があるから
21. 帰還困難区域の避難指示解除が見通せないから
22. 避難先で仕事を見つけているから
23. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
24. 避難先の方が、生活利便性が高いから
25. その他

【具体的に:

【問 10 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 15-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 継続的な健康管理の支援
2. 役場からの継続的な情報提供
3. 借上げ住宅の継続的利用
4. 一時帰宅支援
5. その他

【具体的に:

双葉町内での事業の実施についてお聞かせください。

現在、双葉町では、皆様のなりわいの再生を後押しするべく「中野地区復興産業拠点」の整備を進めています。また、両竹地区、上羽鳥地区、下羽鳥・長塚地区、三字地区、下長塚地区、中田地区においては、関係者の多大なご尽力により、農地の保全管理活動が進められ、営農再開に向けた一歩を踏み出しています。

また、JR双葉駅東エリアにおいては、ハード面、ソフト面を充実させ、人が歩き、集う環境を作ることで商業の売り上げや土地の利活用促進を期待し賑わいを生み出すようなまちづくりを進めていきます。

問 16-1 からは再度すべての方に向かっています。

問 16-1 あなたは震災発生当時、双葉町内で事業(問 16-2 で挙げられているような事業など)を営んでいましたか。(○は1つ)

1. 営んでいた ⇒ [問 16-2 へ](#) 2. 営んでいない ⇒ [問 16-5\(12 ページ\)へ](#)

【問 16-1 で「1. 営んでいた」と回答した方に向かっています。】

問 16-2 双葉町内で営んでいた事業の業種を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 6. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 7. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 8. 教育 |
| 4. 運輸業 | 9. その他 { 具体的に: |
| 5. 卸・小売・飲食、サービス業 | } |

【問 16-1 で「1. 営んでいた」と回答した方に向かっています。】

問 16-3 今後、双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する ⇒ [問 16-4 へ](#)
 2. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望しない } ⇒ [問 17-1\(13 ページ\)へ](#)
 3. まだ判断がつかない

【問 16-3 で「1. 双葉町内での事業の再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方に向かっています。】

問 16-4 双葉町内で事業を再開する希望時期はいつですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 1年以内 | 4. まだ決めていない |
| 2. 3年以内 | 5. その他 { 具体的に: |
| 3. 居住していた地区の避難指示解除 | } |

⇨ [問 16-6\(12 ページ\)へ](#)

IV 参考資料

【問 16-1 で「2. 営んでいない」と回答した方にうかがいます。】

問 16-5 今後、双葉町内で新たな事業へのチャレンジに取り組まれる希望はありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------------------|
| 1. ある | ⇒ 問 16-6 へ |
| 2. ない | } ⇒ 問 17-1(13 ページ)へ |
| 3. わからない | |

【問 16-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方もしくは問 16-5 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問 16-6 双葉町内で事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どの場所での事業実施を希望しますか。(○は1つ)

- | |
|----------------|
| 1. 中野地区復興産業拠点内 |
| 2. 駅西エリア |
| 3. 駅東エリア |
| 4. その他 { 具体的に: |

【問 16-3 で「1. 双葉町内での事業再開や新事業へのチャレンジを希望する」と回答した方もしくは問 16-5 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問 16-7 双葉町内で事業再開または新たな事業にチャレンジをするにあたり、どのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1. 土地や建物の取得に対する支援 |
| 2. 設備導入に対する支援 |
| 3. 専門家などによる経営等に対する助言 |
| 4. その他 { 具体的に: |

双葉町内での就業意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 17-1 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定し、すでに操業している企業もあります。また、双葉町産業交流センターには貸事務所もあり、多くの企業が入居しています。このように、双葉町内で働く環境が整ってきておりますが、今後、双葉町内で働くことに興味はありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---|------------------|
| 1. 興味がある | ⇒ | 問 17-2 へ |
| 2. 興味がない | } | ⇒ 問 18(14 ページ) へ |
| 3. わからない | | |

【問 17-1 で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】

問 17-2 希望する業種は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 { 具体的に: |
| 6. 卸・小売・飲食、サービス業 | } |

【問 17-1 で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】

問 17-3 希望する雇用形態は何ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|------------------|
| 1. 正社員 | 2. 契約社員 | 3. アルバイト、パートタイマー |
|--------|---------|------------------|

【問 17-1 で「1. 興味がある」と回答した方にうかがいます。】

問 17-4 どのような支援・施策(住居・支度金・その他)があれば町内に勤めたいと思えますか。

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 18 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 解体して建替えたい | 6. 被災状況を確認してから決めたい |
| 2. 解体して更地にしたい | 7. 世帯で保有している家屋はない |
| 3. 建物除染後、修繕して自ら使いたい | 8. 保有している家屋を既に解体した |
| 4. 建物除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 9. その他 [具体的に |
| 5. 建物除染後、行政や事業者に使ってもらいたい(売却・賃貸を含む) |] |

【すべての方にうかがいます。】

問 19 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 宅地除染後、自ら使いたい | 4. 宅地除染実施後に判断したい |
| 2. 宅地除染後、親戚・親族・友人に使ってもらいたい | 5. 既に土地(宅地)を町などに売った |
| 3. 宅地除染後、行政や事業者に使ってもらいたい | 6. 世帯で保有している宅地はない |
| | 7. その他 [具体的に: |
| |] |

【すべての方にうかがいます。】

問 20 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。
（○は1つ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 営農を再開したい | 4. 世帯で保有している農地はない |
| 2. 売却または賃貸したい | 5. その他 [具体的に: |
| 3. なにもしない |] |

復興公営住宅についてお聞かせください。

◆復興公営住宅とは◆

将来の帰還に向け、仮設住宅などから安定的な居住・生活環境に移っていただくためなど、原子力災害により避難の継続を余儀なくされている方々の居住の安定を確保するために、福島県が主体となり整備している公営住宅。

※双葉町が整備した町内の災害公営住宅とは異なりますのでご注意ください。

【すべての方にうかがいます。】

問 21-1 福島県営の復興公営住宅(双葉町外)への入居意向について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. すでに入居している、もしくは入居の申込み中である | 3. 入居を希望しない |
| 2. 今後、入居の申込みをしたい | 4. 判断できない |
| ⇒ 問 21-2 へ | 【判断できない理由: _____】 |

→ 問 21-1 で「1」「3」「4」を選んだ方は問 22-1(16 ページ)へ

【問 21-1 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 21-2 入居を希望する時期について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|----------------------|
| 1. 令和5年度 | 3. 令和7年度 | 5. その他 【具体的に: _____】 |
| 2. 令和6年度 | 4. 令和8年度以降 | |

【問 21-1 で「2. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 21-3 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------------|---------|
| 1. 福島市 | 7. 田村市 | |
| 2. 会津若松市 | 8. 南相馬市 | |
| 3. 郡山市 | 9. 本宮市 | |
| 4. いわき市 | 10. 福島県内のその他の市町村 | |
| 5. 白河市 | →具体的に記入ください | |
| 6. 二本松市 | | (市・町・村) |

※この質問への回答により、入居の申込み等に影響があるものではありません

◆ 福島県の整備する復興公営住宅に関するお問い合わせはこちらへ ◆

福島県 生活拠点課 TEL : 024-521-8306

双葉町産業交流センターについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 22-1 令和2年10月に開所した双葉町産業交流センター内では、レストランやフードコート、コンビニなどがあります。また、貸会議室もあり集会やイベントなども行うことが可能です。これまでに双葉町産業交流センターを利用されたことがありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

【すべての方にうかがいます。】

問 22-2 今後、どのような取組があれば訪れたいと思いますか。

国や福島県、双葉町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 23 今後、町内の復興を進めていくにあたり、帰還後に必要なもの、取り組んでほしいことなど、あなたのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 24 避難生活において困っていることや、改善を求めること等があればお書きください(医療、教育、健康支援、就労、コミュニティなど)。また、その他にも国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
11月19日(日)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

**双葉町 住民意向調査
報告書**

令和6年3月

復興庁 福島県 双葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター